

市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	八重瀬町外国語指導強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-7	
担当部課名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～平成33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 - 3	
事業内容	八重瀬町内の各園・小・中学校に指導助手を配置することで教育環境の充実に図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	14,064	11,923			
		(b)予算現額	8,809	11,923			
		(c)増減額(b-a)	5,255	0			
		(d)繰越額	-	0			
	A.計(b+d)		8,809	11,923			
	B.執行済額		8,809	11,923			
	うち交付金充当額		7,047	9,539			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		当初、計画していた事業内容は全て実施できた他、活動目標、成果目標とも若干ではあるが達成できており、適正に執行済みであった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・外国語指導助手 4園4小(3人は園・小兼務) ・英語指導助手:2人 2中へそれぞれ配置	目標	(幼小中へ配置)	(幼小中へ配置)	()	()	
		実績	配置済み	配置済み			
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	外国語指導助手を予定どおり配置し、外国語にふれ合う機会を作り、英検を積極的に受講させてスキルアップの手助けになっている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・H25年度受講者数 4幼稚園269人、4小学校(5・6年生)646人、及び2中学校938人受講。 ・英語検定受験者中8割合格目標	目標	(-)	(指導助手配置)	(合格率:8割)	()	()
		実績		指導助手配置 6人	合格率:約6割		
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	合格率は約6割となり目標には届かなかった。 外国語講師を引き続き学校に配置し、より多くの児童へ外国語に興味を持たせて合格率アップを目指す。					

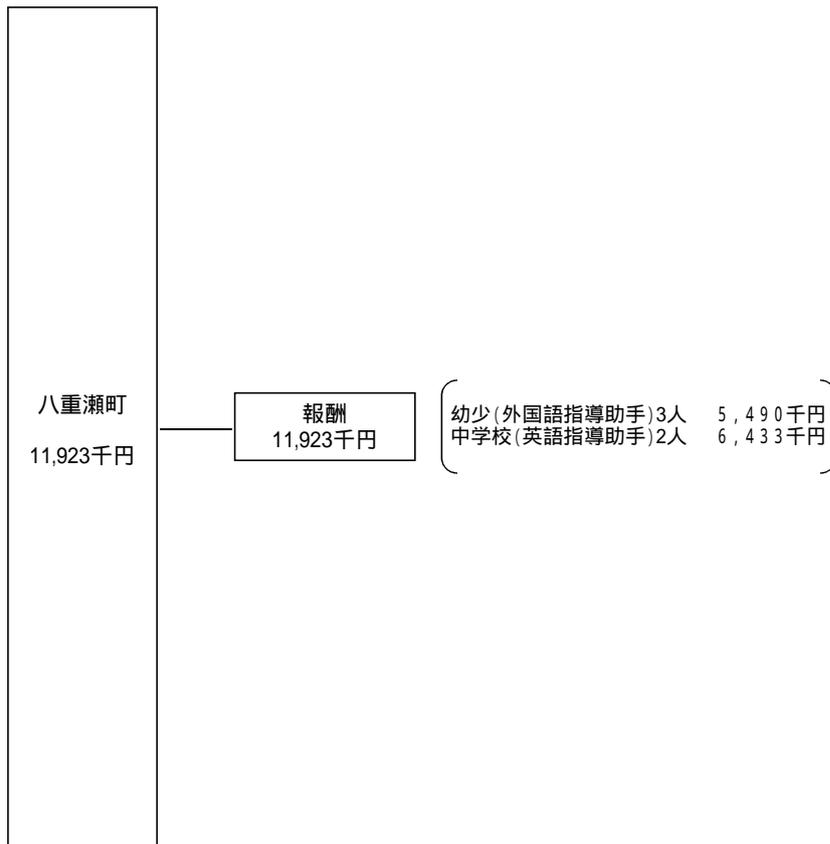
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	外国人講師の配置は目標を達成している。沖縄県内は外国人(英語圏)とのコミュニケーション関係にニーズが高く、ふれ合う環境等も多くある。八重瀬町でも次世代を担う子どもたちが、国際的な視野を持ち、幅広く活躍できる環境をつくるために、小学校では講師をとおしてネイティブな語学を学び、中学校ではさらに英語検定という目に見える資格を取得させたい。その中で受験者については全員合格を目標にしているが、6割程度となった。	学校全体でも英検を推進し、外国人講師等からも英検受講を促しながら、個々のスキルアップにつなげるようにすすめる。

今後の取り組み方針

より多くの児童が外国語に興味を持たせ、さらなる語学力を継続的に行い引き続き講師を活用する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,923	11,923	9,539	2,384	



資金の流 れ、費目・ 点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業の予算規模は適正であり、費目、使途の目的については適正に処理されたと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1- 八重瀬町パソコン指導強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-7
担当部課名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度 平成24～平成33年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 - 3

事業内容
迅速に進むIT社会へのニーズに伴うべく、パソコン操作の能力向上を義務教育で強化するため、ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	6,614	6,632			
	(b)予算現額	4,271	6,632			
	(c)増減額(b-a)	2,343	0			
	(d)繰越額	-	0			
	A.計(b+d)	4,271	6,632			
	B.執行済額	4,271	6,632			
	うち交付金充当額	3,417	5,305			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			
	予算の状況の説明	パソコン指導員の報酬として事業計画通り支払いしており、執行は適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	パソコン指導員配置小学校に2名中学校に2名を配置	目標	(小中へ配置)	(小中へ配置)	()	()
		実績	配置済み	配置済み		
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	小中へ指導員を予定どおり配置して児童生徒へパソコン操作能力及びスキルの向上が図れた。					

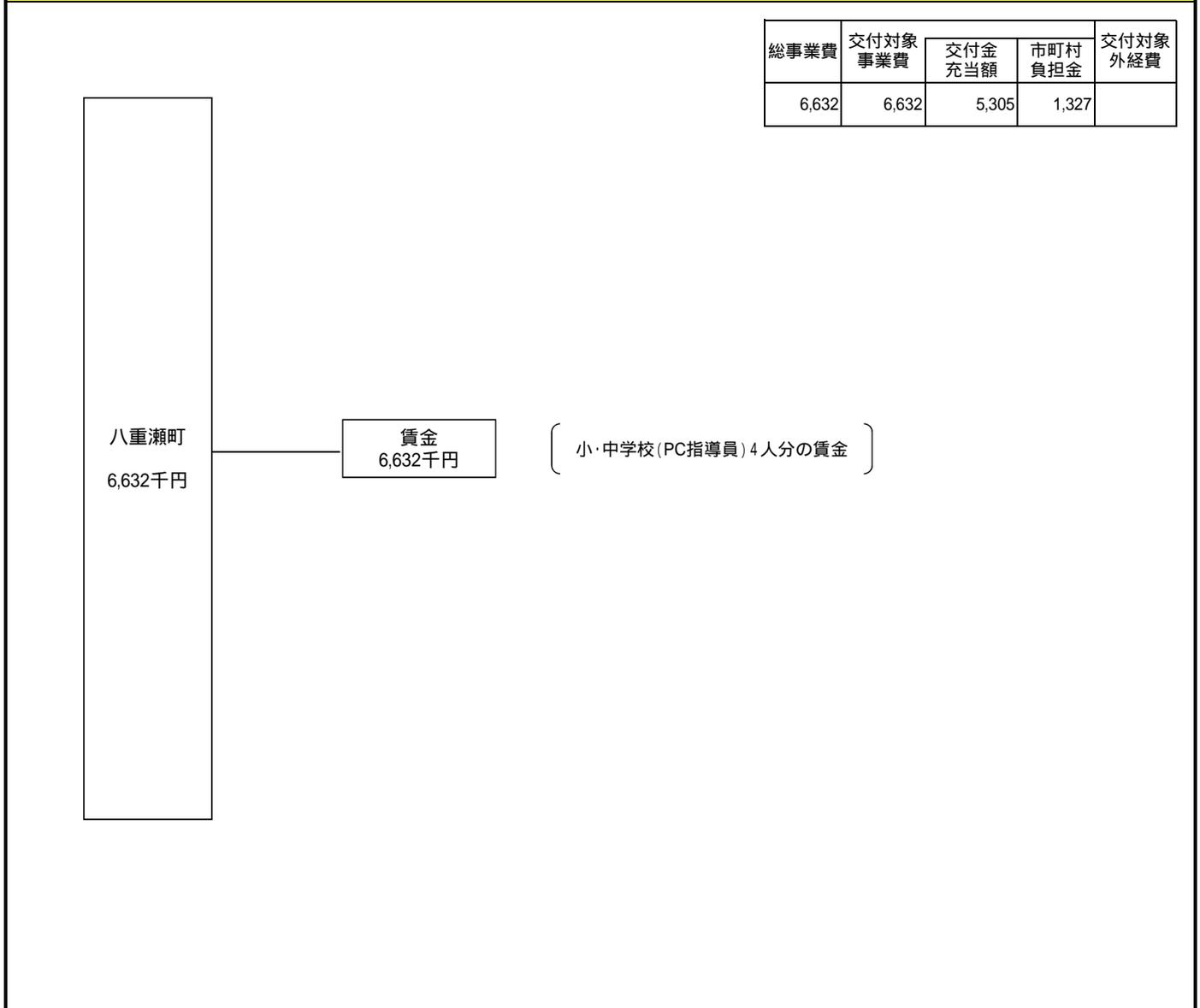
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		・H25年度受講者数 4小学校1,940人、2中学校938人受講。 ・ワープロ検定等、受験者中8割合格を目標	目標	(-)	(指導員配置)	(合格率:8割)	()
	実績			指導員配置 4人	合格率:9割		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	合格率が9割となり目標を達成した。引き続きパソコン講師を引き続き学校に配置し、次年度も児童生徒へPC操作に興味を持たせ、基本操作はもちろんのこと目標達成を目指す。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	IT社会が常識になる昨今、基本動作だけではなく、エクセルやワードを活用し資料作りや表計算といった操作方法を教えられた予算内での適正な指導員を配置を行う必要がある。	継続して専門の指導員を配置し、学校を中心にPC操作に関連する検定等の周知を行い、目標の受験者中8割の合格者をめざし引き続き学校と連携していく。

今後の取り組み方針

より多くの児童生徒にPC操作などに興味を持たせ、PC操作に関連する検定等の周知を図り、検定合格率のアップを図るため引き続き講師を活用する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業の予算規模は適正であり、費目、使途の目的については適正に処理されたと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

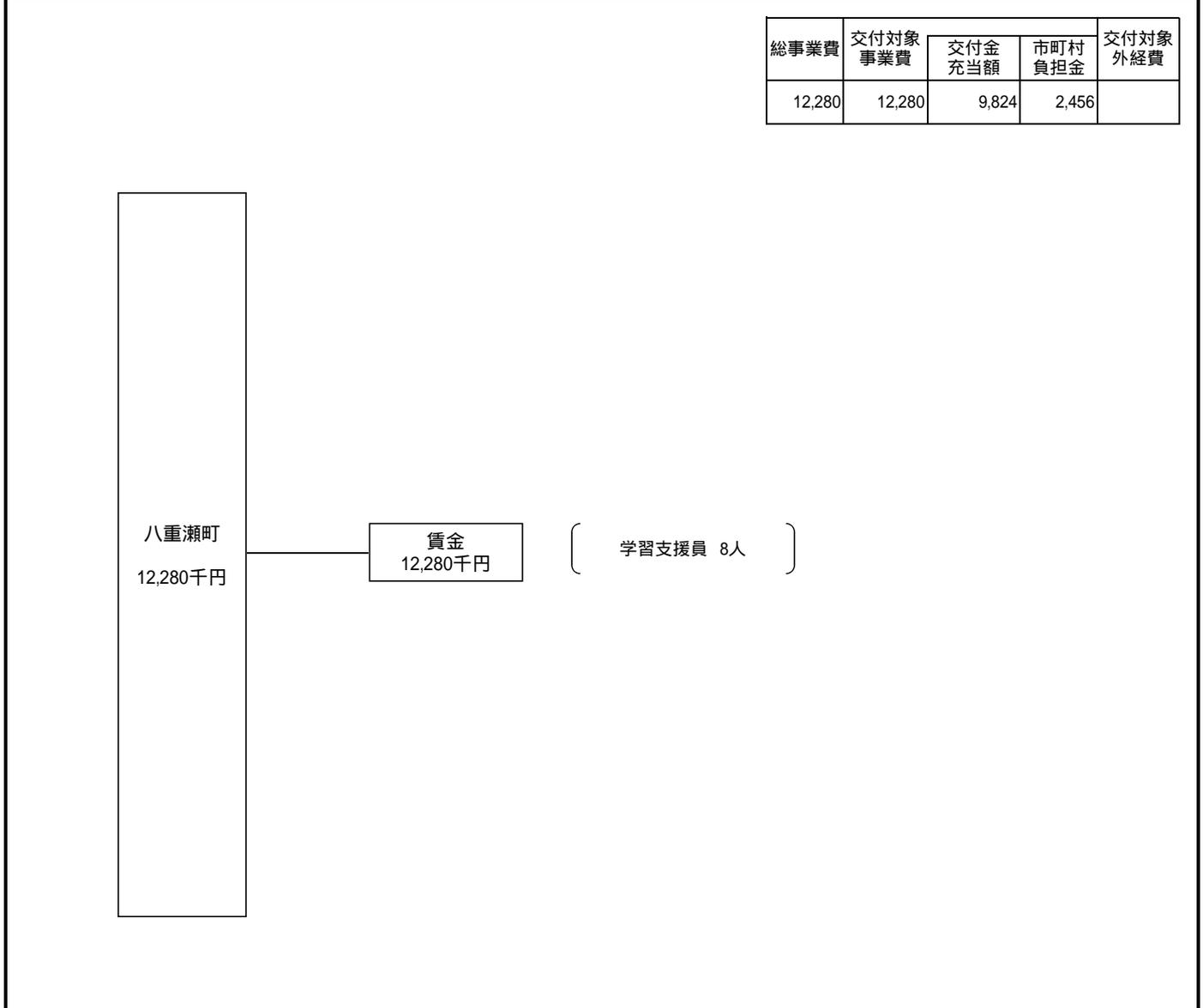
市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	八重瀬町学力向上支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7	
担当部課名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～平成33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 - 3	
事業内容	小中学校へ学習支援員を配置し、学習の遅れがある児童生徒への学習指導を通して、児童の学習意欲を高め学力向上を目指し、学校及び学級運営を円滑にする。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		12,280			
		(b)予算現額		12,280			
		(c)増減額(b-a)		0			
		(d)繰越額		0			
		A.計(b+d)		12,280			
	B.執行済額			12,280			
	うち交付金充当額			9,824			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)			100.0%			
予算の状況の説明		学習支援員の賃金として計画通り支払いしており、執行は適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	学習支援員配置数 小学校:4人 中学校4人	目標	()	(小学校:4人 中学校:4人)	()	()	
		実績		小学校:4人 中学校:4人			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	町内の4小に1人づつ4人を配置・中学校へ2人づつ4人の学習支援員を配置。クラスの状況に応じて、T・T(チーム ティーチング)形式等での算数等を中心に学力向上支援を行う。学習支援員(教員有資格者)を配置することできめ細やかな指導体制がはかれ、学習意欲や基礎学力の定着が図れた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	各小学校:年間の授業及び補習時間:980時間(年間平均値) 各中学校:年間の授業及び補習時間:1,077時間(年間平均値)	目標	()	()	(小学校980時間 中学校1,077時間)	()	()
		実績			小学校980時間 中学校1,077時間		
	〔参考指標〕	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	学習支援員を配置した学校からは、少人数教室等で個々の理解度に合わせた指導が行えたとの報告が学校側から多数寄せられたことから学力向上につながったと判断できる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	継続的に学習支援員を配置することで、学力向上に向け指導体制を強化するねらいだが、学習支援員(教員資格保持者)を配置するため、人材確保に苦慮する。	学習支援員の配置をを年度初めから行えるように、大学等とも連携を行い、教諭免許保有者の人材確保に努めることで確保が見込まれる。

今後の取り組み方針

教育サポート体制を強化し、きめ細かな教育環境の提供を図ることで、児童の積極性や学習意欲を向上させ、基礎学力の底上げが図られる。また人材確保の観点から、町の広報誌やホームページ等を活用し、人材を確保する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業の予算規模は適正であり、費目、使途の目的については適正に処理されたと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	八重瀬町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-	八重瀬町伝統芸能文化の継承事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-7
担当部課名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成
				- 3

事業内容
 中学校において、伝統文化の継承を図るために、組踊、三線、エイサー等講師招いて特別授業を行い伝統文化を直に感じて、啓蒙を行い、その集大成として発表会を行う。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	1,208	900			
	(b)予算現額	808	877			
	(c)増減額(b-a)	400	23			
	(d)繰越額	-	0			
	A.計(b+d)	808	877			
	B.執行済額	808	877			
	うち交付金充当額	646	701			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			
予算の状況の説明	予算は実績に基づく支払いをしており、執行は適正であったと考えている。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		中学校への講師招聘	目標 (講師招聘 26人)	(講師招聘 30人)	()	()
	実績	講師招聘 30人	講師招聘 31人			
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	10月の発表会に向けて、各分野の専門講師を招聘し講義を行い、発表会で披露した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		発表会の生徒参加生徒数642人	()	(受講者 205人)	(発表会参加生徒 642人)	()
		実績		受講者 205人	642人参加	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	発表会へ3年生218人が総合学習の成果を1,2年生や父母の前で発表会を行い成功を収めている。また16人の講師の他に着付け補助員として10人。総勢26人での協力体制の発表会を成功裏に収めた。父母からの評判もよく、毎年楽しみだと喜びの声も届いている。また毎年開催することにより八重瀬町の伝統芸能の継承を継続的に図ることができている。					

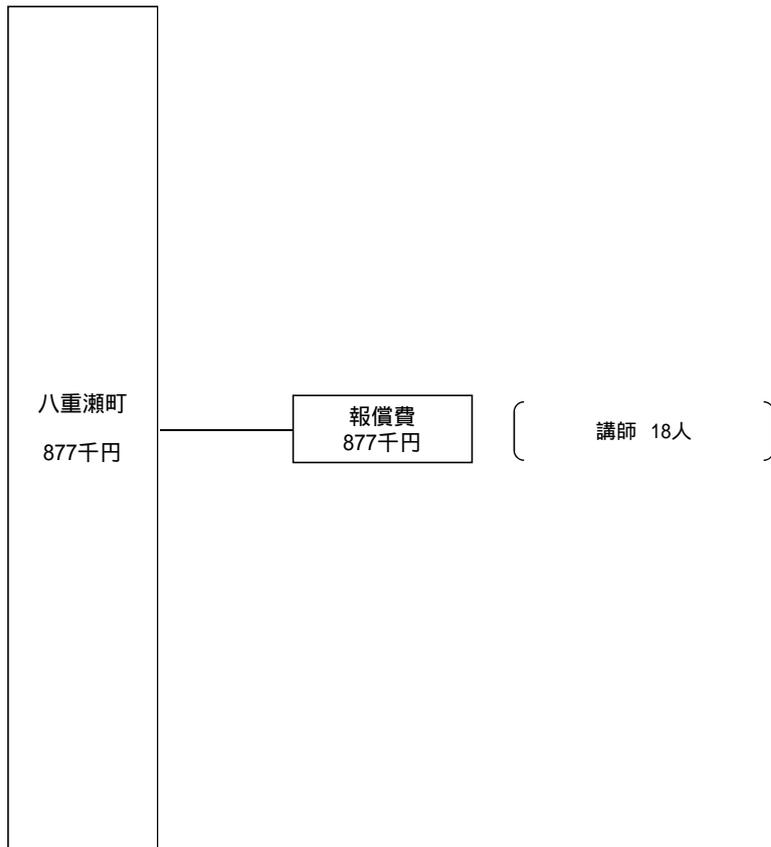
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	総合学習の一環で授業を行うのが平日であり、各講師とも講演会や舞台発表等、講師自身とのスケジュール調整が毎年課題である。演舞によっては講師に偏りが見受けられる。	年度末には、講師との調整を行い、スムーズに講師依頼ができるように段取りを進めていく。

今後の取り組み方針

八重瀬町の伝統芸能継承事業を通して、東風平中学校3年生の生徒に伝統文化にふれさせ体験させることで継承を啓蒙する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
877	877	701	176	



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業の予算規模は適正であり、費目、使途の目的については適正に処理されたと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	八重瀬町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	八重瀬町国際交流人材育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-7	
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 - 3	
事業内容	教育・文化・歴史・産業等の視察学習や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広げ、友情を深め、国際化時代に対応しうる青少年の育成を図るため、青少年リーダーを海外へ派遣する。今回の派遣者は、12人とする。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a)当初予算額	7,000	5,880				
	(b)予算現額	5,603	5,381				
	(c)増減額(b-a)	1,397	499				
	(d)繰越額	-	-				
	A.計(b+d)	5,603	5,381				
	B.執行済額	5,603	5,381				
	うち交付金充当額	3,944	3,888				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%				
予算の状況の説明	旅費・食料費等で減額したが、予定していた事業内容を実施することができ、適正と考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	海外短期派遣生徒数 12人	目標	(12人)	(12人)	()	()	
		実績	12人	12人			
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	国際化時代に対応しうる青少年を育成するうえで、青少年リーダー12人をハワイ州へ派遣し、視察学習やホームステイ・ミドルスクールへの体験入学を通して国際的視野を広げ、友情を深めた。事前研修で八重瀬町の紹介をパワーポイントで作成し、英語で発表したり、郷土芸能のエイサー・琉球舞踊・三味線を交流会において披露した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)	
	海外短期派遣生徒数:12人 事後報告会:12人 事後報告書:50冊	目標	(0)	(派遣数12人)	(派遣数12人 報告会12人 報告書50冊)	()	(120人)
		実績		派遣数12人	派遣数12人 報告会12人 報告書50冊		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	現地での研修を体験することで、国際的視野が広がり、コミュニケーション能力が向上し、積極性がどんどん出てきて団員一人一人の成長が伺えた。また、将来英語を使った仕事に就きたいとの声も多く聞かれた。 事後研修会において、前回参加した団員2名が平成26年度の県の試験に合格し留学する旨の報告があった。						

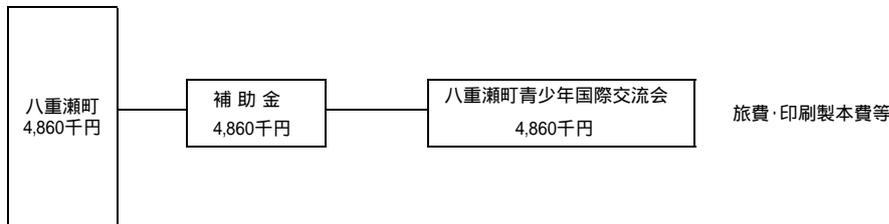
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(ア)ホームステイ先の確保 (イ)安全面の確保(夜、ホテルの周りの治安が悪い)	(ア)沖縄県人会・東風平町人会・具志頭村人会との早めの調整 (イ)安全面が確保できる宿泊施設を選ぶ

今後の取り組み方針

ホームステイ先を確保するために、今後英語圏の研修場所を探す必要がある。各年で交互に研修すれば、ホームステイ先の負担も軽減される。旅行社を選定する際に、安全面が十分であるかどうかを検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,381	4,860	3,888	972	521



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先については、町内各種団体(八重瀬町青少年国際交流会)であり、妥当であると考えられる。 現地での食料費(食事・トリスケール給食費・アロハパーティ等)について受益者負担としているので妥当であると考えられる。 費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	汗水節の心啓発事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-7	
担当部課名	八重瀬町教育委員会生涯学習文化課	事業実施（予定）年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり - 3		
事業内容	汗水節はふる里の歌として親生まれ今日に歌い継がれてきました。本町出身の仲本稔氏作詞のその歌詞に込められた想いは、生活に苦しむ当時の人々の心を励ます内容でした。この「汗水節の心」を広く県民に啓発し、現代に生きる人々の働く喜びや健康で社会奉仕に取り組む姿勢をめざし、生きる力、豊かな心を育み人材を育成する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		326			
		(b)予算現額		326			
		(c)増減額(b-a)		0			
		(d)繰越額		0			
		A.計(b+d)		326			
	B.執行済額			326			
	うち交付金充当額			260			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)			100.0%			
予算の状況の説明		汗水節の心啓発事業 ポスター、クリアファイル作成として業務委託し予定通り執行できた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	配布（ポスター・町内 10,400世帯） （公共施設等 100箇所） （クリアファイル・町内各幼小中学校 3,600枚）	目標	()	(ポスター、クリアファイル作成)	()	()	
		実績		ポスター、クリアファイル作成			
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	成果物の配布による普及啓発を実施した。 配布（ポスター・町内 10,400世帯） （公共施設等 100箇所） （クリアファイル・町内各幼小中学校 3,600枚）						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	配布（ポスター・町内 10,400世帯） （公共施設等 100箇所） （クリアファイル・町内各幼小中学校 3,600枚）	目標	()	()	(10,500枚 3,600枚)	()	()
		実績			10,500枚 3,600枚		
	〔参考指標〕		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	各家庭や学校現場においてポスター、クリアファイルを掲示、使用することで「汗水節の心」の啓蒙活動が充実する。						

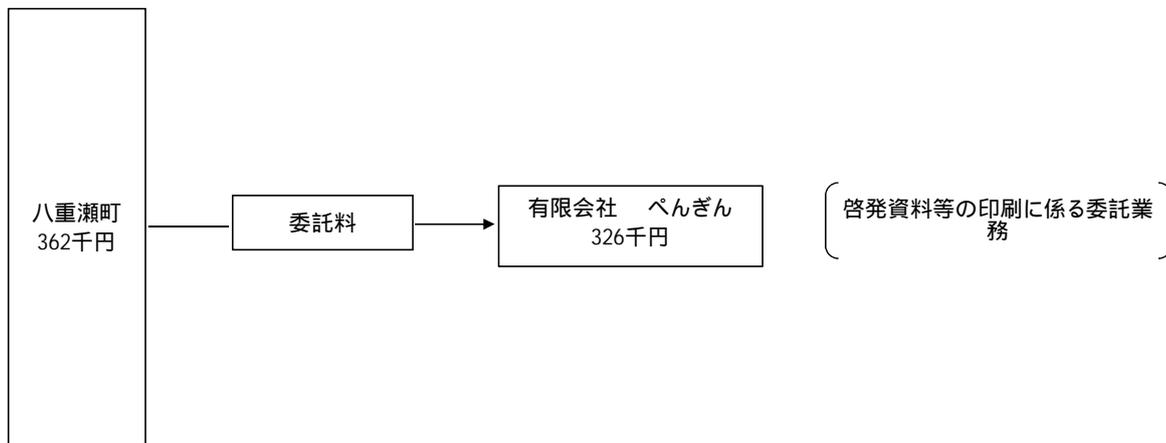
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・八重瀬町出身者の作詞した沖縄を代表する教訓歌の認知度が低く、普及が乏しい。 ・児童生徒の学校現場においても、教育の一環として取り入れる必要がある。 ・八重瀬町内での汗水節の心を行動にする活動は、所々で実施してきている。また、町内の学校や地域においてはこれからも継続して取り組むことで地元の教訓歌としての活用を図ることが望まれている。 ・啓発として今回の取組で、視点から汗水節の心を見つめ、徐々に行動に伴うことが期待され啓発事業の継続や新たな企画、記念事業等の要望がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全世帯に標語ポスターを配布することにより、家庭においても汗水節についての意識高揚を図る機会を図る。 ・学校教育の一環で汗水節について学ぶ上で、教材の中に汗水節オリジナルクリアファイルを使用することで、汗水節に対する意識の向上を図る。 ・さらに啓発事業を展開してほしいという要望に応えるため、汗水節関連資料の整理や、作詞者の生誕記念事業等を含めた顕彰事業の実施、汗水節に対する町民の意識高揚を図る。

今後の取り組み方針

- ・汗水節作詞者の顕彰事業の展開
- ・子どもたちを対象とした、汗水節一句コンテスト
- ・花卉植栽の栽培や環境づくりによる汗水節の心普及の活動
- ・子ども汗水節大会の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
362	362	260	102	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定については、八重瀬町財務規則に基づき企業の実績を踏まえ随意契約にて選定した。 予算規模については事業内容に適正な規模である 費目・使途は事業目的に即し、必要経費に限定されている
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	八重瀬町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 -	教育施設環境整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
				- 3

事業内容
園児の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。幼稚園2園の設計委託業務及び、設置工事を行う。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額		9,000		
	(b)予算現額		8,832			
	(c)増減額(b-a)		168			
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)		8,832			
	B.執行済額		8,832			
	うち交付金充当額		7,064			
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		100.0%			
	予算の状況の説明	増減額が168千円発生しているが、委託料の入札残によるものであり、当初予算から委託料を168千円減額補正した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
	東風平幼稚園:6保育室に空調設備を設置 新城幼稚園:遊戯室・2保育室に空調設備を設置	目標 () (幼稚園2園) () ()			
	実績		幼稚園2園		
		目標 () () () ()			
	実績				
達成状況説明	幼稚園2園の設計委託業務及び、設置工事により東風平幼稚園4保育室に新城幼稚園4保育室に空調設備を設置した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			町内4幼稚園の内、3幼稚園が空調設備設置済となり、設置済率75%となる。	目標 () () (75%) () ()		75%
[参考指標]		目標 () () () () ()				
	実績					
進捗状況説明	平成25年度の事業実施により、幼稚園が空調設備設置済75%となり目標を達成することができた。 整備後においては、園児の安全・快適な学習環境を保持することができた。 未整備1幼稚園については、平成27年度以降に全面改築による整備を予定している。					

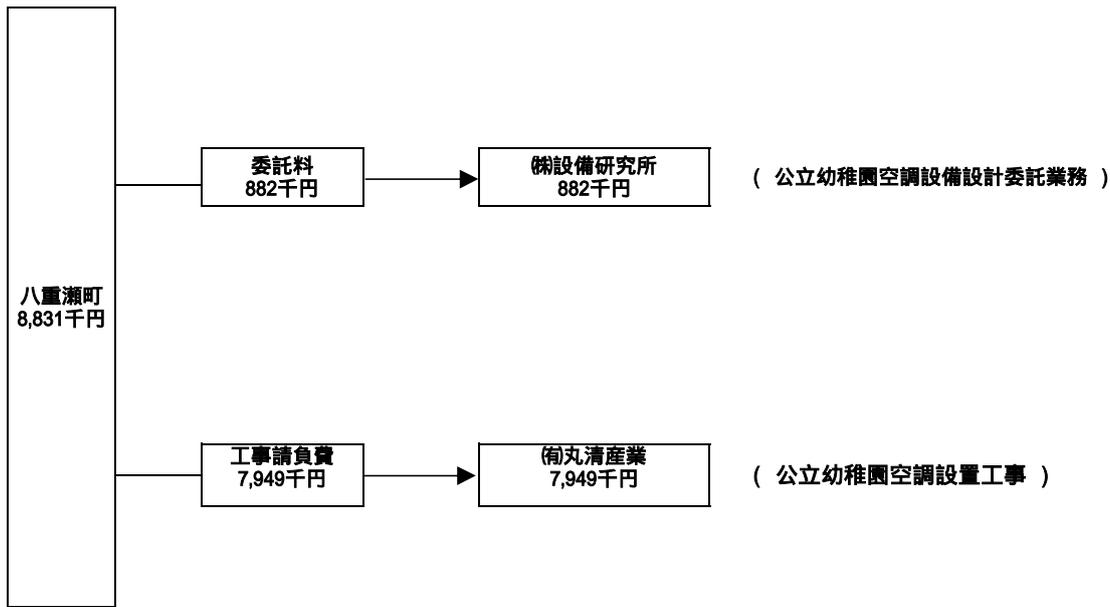
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	空調設備を整備したことにより、夏場において園児の安全・快適な学習環境を保持できる環境を整備したので当初の目的を達成したと考える。	園児の教育環境の整備が図られたと考えるが、空調設備の使用により電気代の上昇が懸念されるため適切な温度管理等により節電を図る。

今後の取り組み方針

・2幼稚園について整備を行い、安全・快適な学習環境を保持することができた、使用については、適切な温度監視等により節電を図る。
 ・今後は、幼稚園の保育現場の実情を踏まえ環境整備を行っていきたい。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,831	8,831	7,064	1,767	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 八重瀬町イベント事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (2) - イ		
	担当部課名	企画財政課		事業実施（予定）年度 平成24～33年度		市場特性に対応した誘客活動の展開	
		沖縄振興基本方針該当箇所		- 1 - 1			
事業内容	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベント「やえせまつり」を行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する。イベントの内容は、地域の伝統芸能、八重瀬の民俗芸能、各種団体の出演、やえせのゆるキャラ「やえせのシーちゃん」のお披露目、八重瀬町出身等のミュージシャンによるコンサート、八重瀬町内の青年会5団体によるエイサー、八重瀬町特産品の販売、伝統風づくり他各種体験、盆栽展示、八重瀬町観光関連パネル展示など						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,325	17,825			
		(b)予算現額	3,325	17,913			
		(c)増減額(b-a)	0	88			
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)		3,325	17,913			
	B.執行済額		2,995	17,913			
	うち交付金充当額		1,281	12,968			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（%）(B/A)		90.1%	100.0%			
予算の状況の説明		予算は、事業内容に即した適正額であったため、事業計画どおりの執行となっている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	八重瀬まつり開催支援	目標	()	(開催支援)	()	()	
		実績		支援実施			
	やえせ桜まつり開催支援	目標	(開催支援)	(開催支援)	()	()	
		実績	支援実施	支援実施			
達成状況説明	町内の各種団体等が、主体的に参画し開催される「やえせまつり」を支援することで、まちづくりの基本目標のひとつである「共に考え行動する協働のまち」の実現と地域の魅力ある観光資源を八重瀬町に訪れた多くの方にPRすることが出来た。また、この補助金を有効に活用して、新たな「やえせブランド」が創出・発信されたことで販路が拡大し、今後の観光及び地域経済の活性化に繋がると考える。 やえせ桜まつりは八重瀬公園の桜を沖縄南部の桜の名所として、地域の資源を地域内外に広くPRすることで地域住民の誇りの醸成、宝への気づきを導き、地域活性化に繋げるものである。今年度は、新たな取り組みとして「ウチナーグチ（沖縄方言）」を取り入れて地域内外へのPRを行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	八重瀬まつり来場者数	目標	()	()	(15,000)	()	()
		実績			30,000		
	やえせ桜まつり来場者数	目標	(1,000)	(1,000)	(5,000)	()	()
		実績		3,000	3,000		
	進捗状況説明	観光客の誘客や地域特産物等のPRを図るため、町特有の地域資源を活用したイベント「やえせまつり」を開催したところ、祭り1日目に約14,000人、2日目に約16,000人の2日間合計で、約30,000人が「やえせまつり」に訪れた。祭りに訪れた方の中には、町外、県外、国外の方も多く見受けられ、八重瀬町にしかない魅力ある観光資源を効果的に発信することで、町外からの観光客の誘客に繋がった。 やえせ桜まつりは干ばつ等の影響により例年になく桜の開花が芳しくなく、祭り当日は雨天であったため予定より低調に終わった。しかしながら、新たなまちあるきやバスツアーとの連携により新たな観光資源として可能性を出すことができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(ア)八重瀬ブランドとして、八重瀬町の観光資源や地域特産品等を町内外に発信したが、県内からの来場者が多く、県外からの観光客は少数であった。	(ア)八重瀬町の観光資源は、観光客にとって魅了あるものであるため、観光客向けのイベントに改善すべきである。また、情報発信についても、観光客向けの対策が必要である。
	(イ)役場が実行委員会事務局となっているため、各主体の自主的な取組が、活発ではなかったと感じる。	(イ)各主体が、イベントの企画から関わることで自主的な取組となり、そのことで、多くのプログラムや特色あるプログラムが提供できると考える。
	(ウ)イベント来場者は、目標を上回る結果が出た。	(ウ)県外からの観光客を増加させることが出来れば、八重瀬町の観光振興と地域経済の活性化に繋がると考える。
	(エ)桜まつりは雨であったため雨天時への対応策を事前に検討	

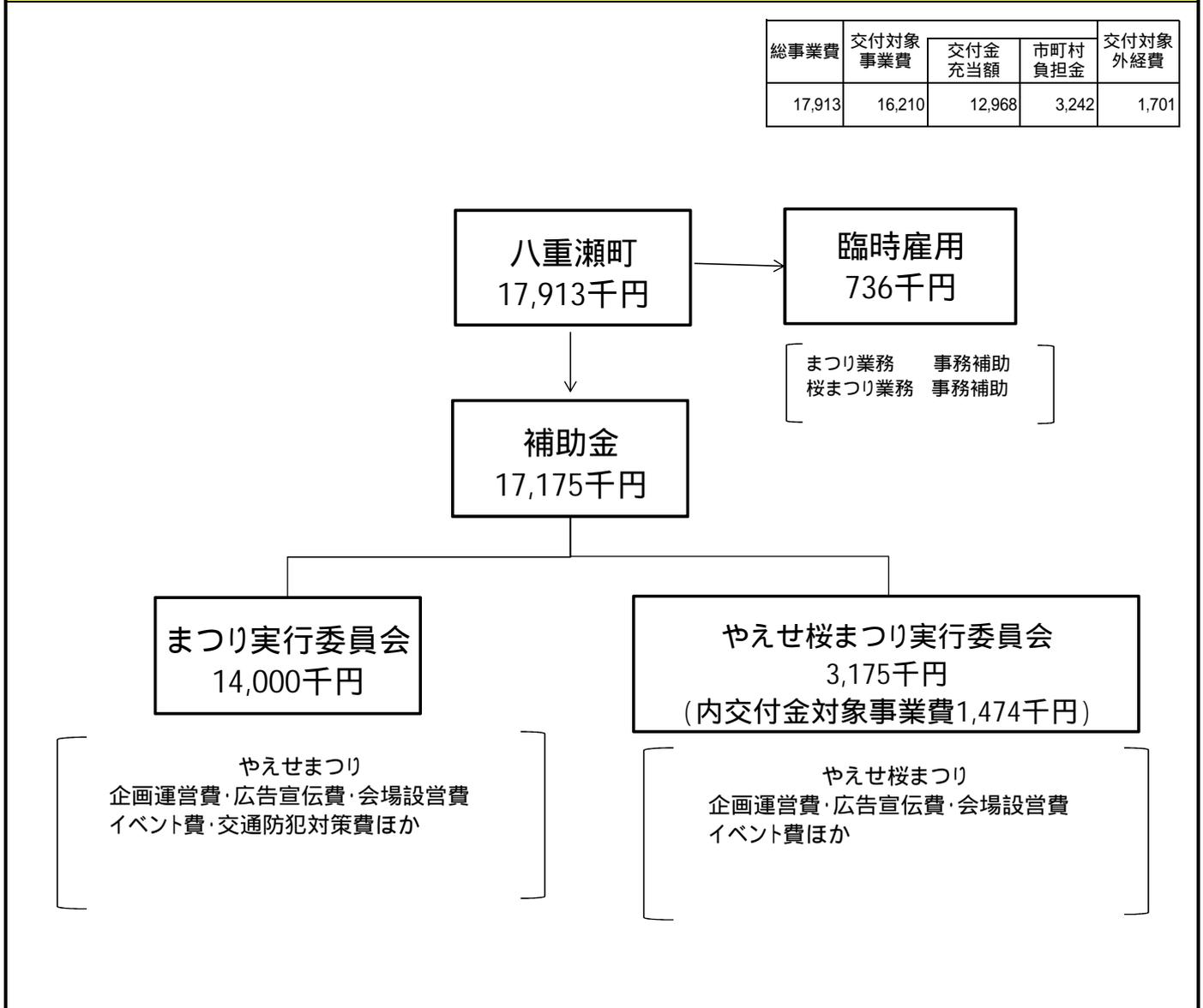
今後の取り組み方針

(ア)観光客向けのイベントにするため、エイサー体験、琉球舞踊体験、沖縄料理体験、八重瀬周遊等、参加型のプログラムも検討すること、本土の旅行社と提携した体験ツアーの販売やPRを検討する。外国人向けに多言語化した情報発信を検討する。

(イ)各主体に各プログラムの企画・運営の責任者となってもらい、自主的で独創性のあるプログラムの提供と、八重瀬町の観光振興と地域経済の活性化に繋がるイベントの構築に協働して参画してもらう。

(ウ)旅行社と提携した販売促進と外国人に対応する多言語化の検討。観光客が利用するレンタカー事業所や公共交通等への情報提供を積極的に行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・補助金の支出先は、役場が事務局となっている、まつり実行委員会のため問題ありません。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算は、事業内容に即した適正額であったため、事業計画どおりの執行となっている。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	・まつり実行委員会による業務発注も入札等を適正に行っている。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	八重瀬さくらのまち整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-2-ウ	
担当部課名	区画整理課		事業実施（予定）年度	平成25年度～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 -1-1	
事業内容	・観光地の魅力向上を図るため、専門家による八重瀬公園内のさくらの生育状態確認、及び今後の育成保全マニュアルを作成しマニュアルに基づき、樹木の育成保全及び補植を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額		2,722			
		(b) 予算現額		2,722			
		(c) 増減額 (b-a)		0			
		(d) 繰越額		0			
	A. 計 (b+d)			2,722			
	B. 執行済額			2,721			
	うち交付金充当額			2,176			
	次年度繰越額			0			
	執行率（%）(B/A)			100.0%			
予算の状況の説明		・千円程度の不要があったものの、当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	八重瀬公園一円のさくらの生育管理を行う。	目標	()	(桜の生育管理を行う)	()	()	
		実績			桜の生育管理を行った		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・当初の目標どおり、育成保全のため選定や施肥等を実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	八重瀬公園内の桜植樹地（約2,500㎡）において桜の生育管理を行う。	目標	()	()	(桜の生育管理を行う)	()	()
		実績				桜の生育管理を行った	
	〔参考指標〕 樹木診断・育成管理マニュアル策定	目標	()	()	(樹木診断・育成保全マニュアル策定)	()	()
		実績				樹木診断・育成保全マニュアル策定	
	進捗状況説明	・今年度は当初の目標どおり、育成保全マニュアル策定を主として、それにより育成保全のため選定や施肥等を実施した。今後は育成環境の整備を進める。					

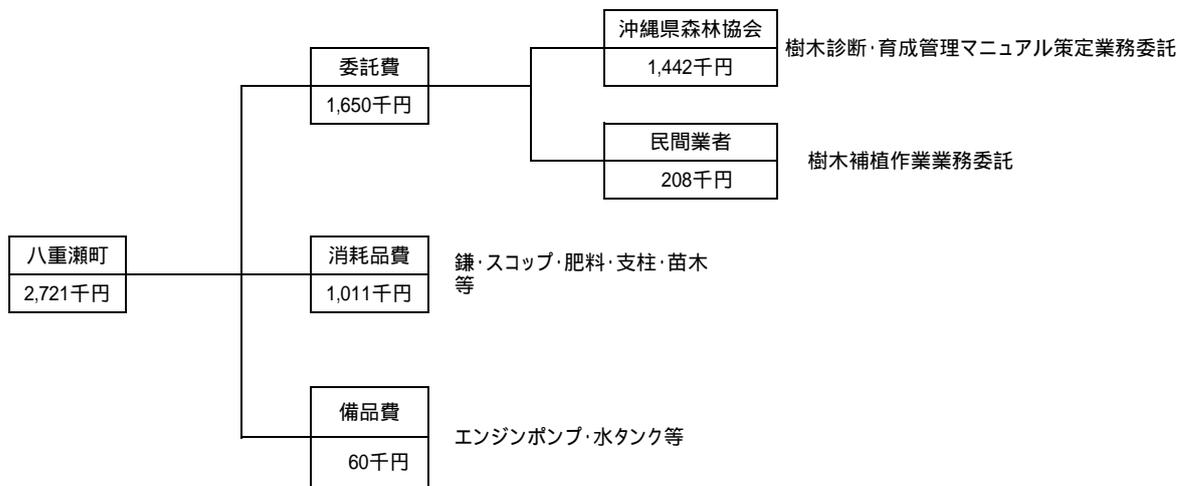
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	植生している場所がほとんど北向きの傾斜地であるため、冬場の北風をまともに受ける悪条件である。また、傾斜地であるため根元部の土砂流出が見られる。さらに、散水車が入らない階段部等の散水源の確保が課題である。	根元部の土砂流出を防ぐための保護工事及び散水用の水源設備工事を進める。今後は、マニュアル本に基づき生育保全をしていくが、効果を確認しつつ、改善する必要性がないか定期的な事業効果の検証を行う必要がある。

今後の取り組み方針

平成26年度～平成28年度にかけて、保護工事及び水源設備工事を計画し、同時に今年度に策定したマニュアルをもとに、樹木の育成に必要な選定・施肥等をすすめ事業効果の確認をし、必要があれば改善していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,721	2,721	2,176	545	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・マニュアル策定は樹木医に委託しており妥当である。 ・マニュアル策定及び育成管理に必要な材料購入であり妥当である。 ・委託費・消耗品費・備品費とも必要経費である。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	八重瀬町景観重点地区等検討事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
担当部課名	まちづくり計画課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり -1-(1)		
事業内容	「八重瀬町景観計画」(沖縄振興特別推進交付金事業を活用)を基に景観重点地区、重要建造物、重要樹木等の指定に向けた調査・検討を行い、更に、「八重瀬町景観計画」の周知を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		6,000			
		(b)予算現額		6,000			
		(c)増減額(b-a)		0			
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)			6,000			
	B.執行済額			4,788			
	うち交付金充当額			3,830			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)			79.8%			
予算の状況の説明		・不要額が1,212千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	八重瀬町景観重点地区等の指定に向けた調査・検討を行う。	目標	()	(調査・検討)	()	()	
		実績		調査・検討を行った。			
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	景観計画の周知をはかるとともに重点地区、重要建造物や景観重要樹木についての説明会を行い、選定基準(案)を策定した。また、屋外広告物の基礎調査や公共施設、民間施設の景観形成の調査・検討などを行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	八重瀬町景観重点地区等の指定に向けた調査・検討を行う。	目標	()	()	(調査・検討)	()	()
		実績			調査・検討を行った。		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	地域別説明会では、参加者は少なかったが活発な意見交換ができた。 八重瀬町内、町外のバスツアーには町民32名の参加があり、地元の魅力の再発見になったとの声が多く、毎回開催すべきとの意見も多かった。 景観重点地区の説明会では1地域については、継続的に勉強会を行うことに了解を得た。1地域については理解が得られなかった。 景観重要建造物(1カ所)や景観重要樹木(3カ所)の指定については概ね理解を得られた。 景観重点地区、景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の選定基準(案)の作成を行った。 屋外広告物の現状把握及びどのように景観を誘導すべきかを検討するための基礎的調査を行った。 公共施設及び民間施設等景観形成の調査・検討を行った。 景観ボランティアを任意団体への移行に同意してもらった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(ア)説明会等へ住民参加が少なく、当事者意識が薄いため景観計画への周知が難しい。 (イ)バスツアーに関しては参加者からは好評であった。 (ウ)景観重点地区の説明会では景観が良くなることについては賛成だが、自らの土地に規制がかかることについては反対。 (エ)景観重要建造物(1カ所)の指定については理解を得ているが、活用について、検討が必要である。景観重要樹木(3カ所)の指定については概ね理解を得られたが、今後の管理体制について課題があるものと思われる。 (オ)平成26年4月に景観ボランティアを任意団体の八重瀬風景ネットワークへ移行したが、実績がない。	(ア)広報誌・ホームページ等の媒体を活用し、住民と協働について検討し、周知を図っていく。 (イ)バスツアーに関しては、好評ではあったが、コースと時間について改善の余地がある。 (ウ)景観重点地区候補の住民とは膝をつき合わせた関係づくりが必要である。 (エ)景観重要建造物(1カ所)の管理者とは、今後の活用について継続的に話し合いを続けることが必要である。景観重要樹木(3カ所)の指定については費用や管理主体についての理解が必要である。 (オ)八重瀬風景ネットワークには活動実績を積み重ねることと、町や他団体との協働での取り組みが必要である。

今後の取り組み方針

地道に広報誌・ホームページ等の媒体を活用しながら、平成26年度に立ち上がった、任意団体の八重瀬風景ネットワークと共にイベント等を行いながら、周知を図っていく。
バスツアーに関しては、コースと時間について検討し毎年開催できる仕組み作りを行う。
景観重点地区候補地において、勉強会を行っていく。
景観重要建造物(1カ所)や景観重要樹木(3カ所)の指定に向けて推進する。
八重瀬風景ネットワークと協働での取り組みについて検討し、活動する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,788	4,788	3,830	958	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札により業者を決定しているので妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	八重瀬町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-	水産振興刺し網漁(追込み漁)推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成25年度	観光客の受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容
 高齢化により衰退しつつある伝統漁業の刺し網漁(追込み漁)を守り、水産振興と滞在型観光を推進するため、後継者の育成及び体験型観光漁業(観光客・児童生徒等)を実施するにあたり、長年継承され使用してきた漁具(網等)を一新することで、長期的に漁を行える働く環境の整備を行う。また、導入する機材を存分に活用し、若い世代の漁業者の開拓を進める。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額		7,380		
	(b)予算現額		6,680			
	(c)増減額(b-a)		700			
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)		6,680			
	B.執行済額		6,680			
	うち交付金充当額		5,344			
	次年度繰越額		0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%			
	予算の状況の説明	当初の事業計画、補助金交付要綱及び財務規則に基づき漁協へ適正に補助金交付の執行を行えた。見積り入札により当初予算額より700千円減額になった。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
刺し網漁漁具一式導入	目標	()	(漁具導入)	()	()
	実績		漁具導入済		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	25年度中に漁具等の導入を行い、漁獲シーズンに向けて準備を行っている。老朽化した従来の漁具を使用し、25年度はシーズンを乗り切ったが26年度以降は漁具等の一新を行ったことで漁獲率のアップを目指す。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(25年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
			漁業体験の実施	()	()	(30人)
	実績			20人		
[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	25年度においては導入時期が漁獲時期をおえており、職場体験による周辺地域の生徒の受け入れによるものだけとなっているが、26年度以降は漁獲シーズンを迎える年度初めから独自の漁業体験を計画しており、今後、南部観光協会とのタイアップによる体験プログラムの導入をはかることで目標値以上の体験者数を見込んでいる。					

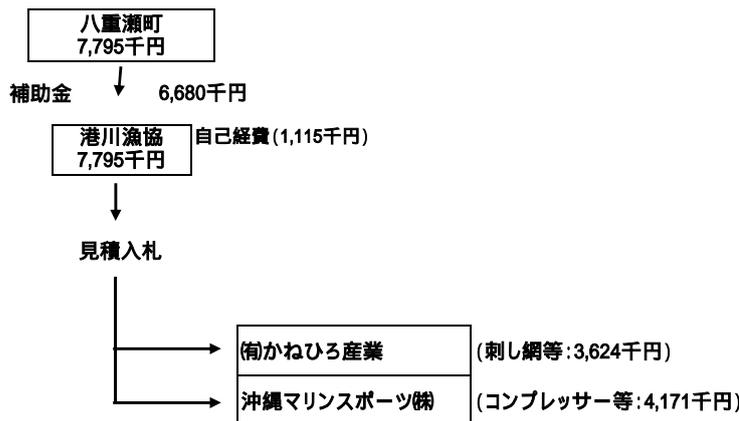
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	漁具の一新を図ったことにより、従来の漁業組合員の士気が高まり今後に期待ができるが、新たな漁業者(担い手)の育成につなげられるか懸念される。	担い手の確保にむけて、漁業体験による就学児童へのPRや、漁業独自に担い手育成プログラムを計画するなど、漁業への人員取込が必要。
	漁業体験の受け入れ数の増員を図るために取組を行う必要がある。	南部観光協会で行っている観光客向けの体験プログラムへの導入を図ることにより漁業体験の受け入れ数の増員を考えられる。
	体験プログラムなどを計画するうえで安全に活動ができるよう指導員の育成が急がれる。	従来の漁業者を集め、南部観光協会などが勤める指導者育成講座等を利用し、安全かつ適切な指導ができる人材を育成する。

今後の取り組み方針

導入した漁具等を利用することにより、従来の漁獲量以上の漁獲高をめざしつつ、漁協が独自の体験プログラムの計画・構築を図るうえで、漁業者を指導者として育成する外部の育成講座等を利用し、安全かつ適切な指導ができる人材育成の取り組みを行う。
 南部観光協会とのタイアップで体験プログラムの導入を図ることで、漁業体験の受け入れ数の増加が見込まれる。
 漁業体験者を増やし、担い手の確保につながるよう人材育成の計画を増やす。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,795	6,680	5,344	1,336	1,115



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	補助金交付要綱、財務規則に基づき適正に執行できた為。また、見積入札により当初の予定金額より減額していることから事業費は妥当であったと考えている。 今後、伝統漁法を長期的に行い、水産振興及び観光振興を実施するための漁具等を購入する漁協への一部負担(総事業費の1割)を課しており、負担関係において妥当であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2- 資料館観光活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	25年度	沖縄振興基本方針該当箇所		
事業内容	化石人骨「港川人」を中心に展示が行われている本町立資料館を観光地として活用し充実を図るため、港川フィッシャー遺跡から出土した県内最古と思われる土器の復元模型と、最近の研究を元に港川人の復元模型の製作を行い、資料の展示公開を行うことで観覧者増を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額		6,091			
		(b)予算現額		5,905			
		(c)増減額(b-a)		186			
		(d)繰越額		0			
		A.計(b+d)		5,905			
	B.執行済額			5,905			
	うち交付金充当額			4,776			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)			100.0%			
予算の状況の説明		不要額が187千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	波状文土器のレプリカ製作	目標	()	(1個)	()	()	
		実績		1個			
	港川人模型の製作と収納ガラスケース	目標	()	(模型1体 収納ケース1個)	()	()	
		実績		模型1体 収納ケース1個			
達成状況説明	これまででは出土していた波状文土器の足りない部分を補い1個体の土器を復元することができた。 最新の港川人研究を取り入れた復元模型を作製し、収納ガラスケースに置くことができた						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	町立資料館の観覧者	目標	(2,600人)	()	(3,500人)	()	()
		実績			3,470人		
	〔参考指標〕	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	企画展「新収蔵品展」(平成26年2月11日～5月11日)を開催し目標設定の3,500人を概ね達成した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・模型資料の周知を図ることを目的に、26年2月中旬より「新収蔵品展」を資料館で開催した。前年度に対し、2月は約40人、3月は約60人の観覧者が増え、課題を消化できたと考える。	・「新収蔵品展」期間中に学芸員による模型の説明会を開催することにより、観覧者の本県の歴史に対する興味が高まり、観覧者数のさらなる増加が望めた。
	今後の取り組み方針	
・定期的に学芸員による資料館展示資料の説明会を開催し、観覧者の増加につなげる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	5,905	5,905	4,724	1,181	0
<pre> graph LR A[八重瀬町 5,905千円] --> B[委託料 5,405千円] A --> C[備品費 500千円] B --> D[株式会社パスコ沖縄支店 1,310千円] B --> E[株式会社サンク・アール 4,095千円] C --> F[港川人模型収納ガラスケース] D --- G[波状文土器製作委託業務] E --- H[港川人模型製作委託業務] </pre>					

資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	港川人模型製作の委託事業者は、公募型プロポーザル方式により企業の実績などをふまえて選定しており、妥当であったと考えている。 波状文土器製作委託は一般入札を行い妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2 - 八重瀬町歓迎看板設置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ
担当部課名	まちづくり計画課	事業実施(予定)年度 平成25年度	市場特性に対応し誘客活動の展開
		沖縄振興基本方針該当箇所	- 1 - (1)

事業内容
 観光振興を推進するため、本町を訪れた人へ一目で八重瀬町をPRできる看板を設置し情報発信の強化を図るとともに、町内に介在する観光資源等のサイン整備計画を策定する。

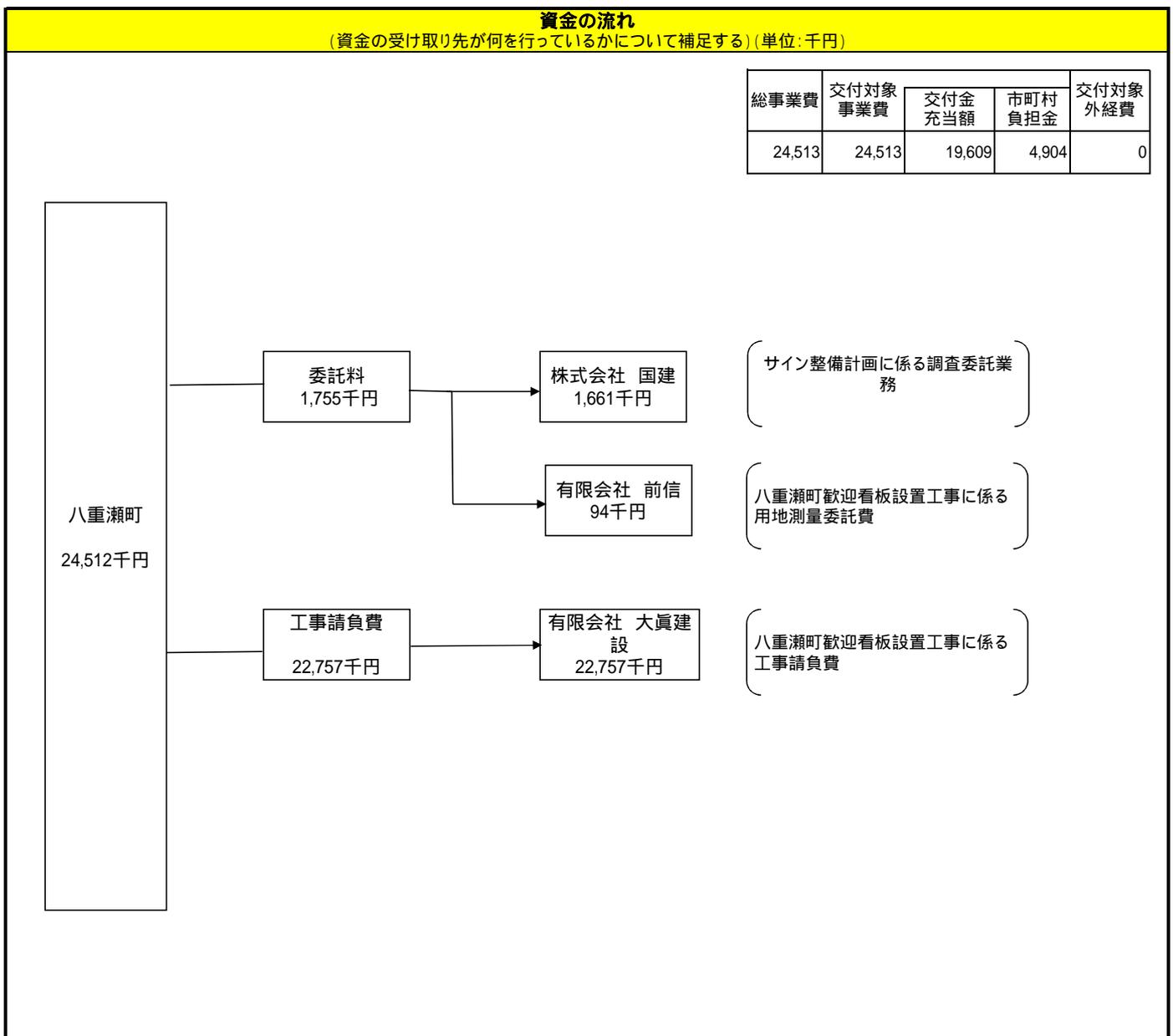
実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額		23,356		
	(b)予算現額		24,568			
	(c)増減額(b-a)		1,212			
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)		24,568			
	B.執行済額		24,513			
	うち交付金充当額		19,609			
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		99.8%			
	予算の状況の説明	・看板設置箇所を用地購入する予定であったが、公共用地に設置する事ができたため、町内におけるサインの現況調査、設置方針を策定するため、用地購入費を委託費に変更しサイン整備計画を作成した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
・サイン整備計画の策定	目標	()	(計画の策定)	()	()
	実績		計画の策定		
・歓迎看板(ウェルカムサイン)等の設置	目標	()	(8基)	()	()
	実績		9基		
達成状況説明	・サイン整備計画を策定することで、サインの現状・必要性を明確にすることができた。 ・必要とされる箇所へ歓迎看板を設置することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
・サイン整備計画の策定	目標	()	()	(計画の策定)	()	()
	実績			計画の策定		
・歓迎看板(ウェルカムサイン)等の設置	目標	()	()	(8基)	()	()
	実績			9基		
進捗状況説明	・町外から来訪される方へ、八重瀬町をビジュアル(知名度の向上)することで、観光推進を図ることができた。 ・サイン整備計画が策定されたことで、今後、誘導サイン・案内サイン等の整備を図る事としており来訪者の利便性向上が見込まれる。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・歓迎看板を設置するだけでは、観光施設・文化資源等について適切でわかりやすい情報の提供と誘導を行う事ができない。</p>	<p>・サイン整備計画を策定することで、サインの現状・必要性を把握することができた、今後、計画書に沿ったサインを整備する事で観光施設・文化資源等への到達や散策を容易にし、来訪者の利便性を高める事ができる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・観光施設、文化資源等への到達や散策を容易にするための、誘導サイン・案内サイン等の設置を計画し、更なる観光推進を図る。</p>		



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託業務、工事請負については指名競争入札で執行した。 ・委託業務1件については、町財務規則により見積りによる随意契約とした。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	八重瀬町情報発信事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-1	
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所		市場特性に対応した誘客活動の展開 -1-(1)	
事業内容	ホームページの観光機能を強化し、国内外へ情報発信を行うことで、観光客等の誘客を促進する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		8,750			
		(b)予算現額		10,510			
		(c)増減額(b-a)		1,760			
		(d)繰越額		-			
	A.計(b+d)			10,510			
	B.執行済額			10,185			
	うち交付金充当額			8,148			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)			96.9%			
予算の状況の説明		予定していた事業内容を実施しているので適正と考えている。不用額が325千円発生しているが、プロポーザルの提案額で契約を実施している事による残額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	町ホームページ機能強化	目標	(-)	(ホームページ機能強化整備)	()	()	
		実績	-	ホームページ機能強化整備完了			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	本町の情報をより積極的に発信するため、多言語化(7言語)、音声案内、モバイル機器等に対応できるよう機能強化を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	町ホームページ機能強化(多言語化:5ヶ国語対応)	目標	(-)	(-)	(多言語化:5ヶ国語)	()	()
		実績		-	多言語化:7ヶ国語		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	多言語化(7言語)、音声案内、モバイル機器等に対応することで、より多くの人へまちの情報を発信することができるようになり、八重瀬町のPRに繋がっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	リニューアルによる機能強化を行うだけでなく、今後も内容を充実させ、情報発信を継続していく必要がある。	ホームページへのアクセスを解析し、内容を充実させ、より効果的なシステムの活用方法を検討する。
今後の取り組み方針		
各種イベント等のタイムリーな情報をホームページやメールで発信し、アクセス数と八重瀬町の知名度の向上を図り観光振興につなげる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	10,185	10,185	8,148	2,037	0
<pre> graph LR A[八重瀬町 10,185千円] --> B[委託料 10,185千円] B --> C[バイザー株式会社 10,185千円] </pre>					

資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、公募型プロポーザル方式により提案内容等を助案したうえで選定しており、妥当であったと考えている。予算規模は積算資料や見積り等に基づいて決定しており、適正な規模と考えている。費目、使途に関しては、事業の目的達成の観点から、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正だと考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

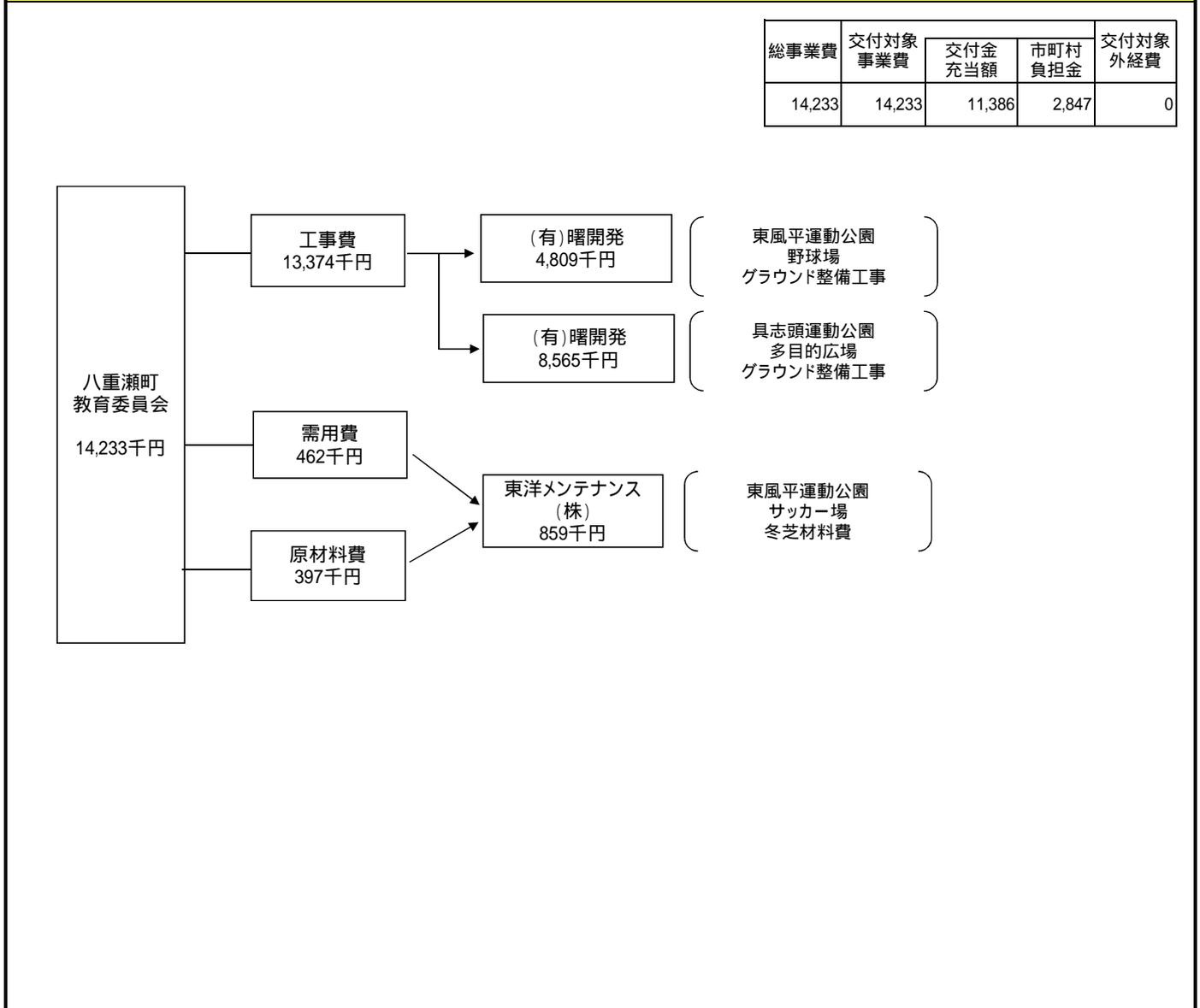
市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	運動公園施設等整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ	
担当部課名	教育委員会 社会体育課	事業実施（予定）年度	25年度～30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 -1-(1)	
事業内容	プロチーム・大学のキャンプでも利用されるサッカー場・野球場・ソフトボール場等の施設を整備しハイレベルな練習環境等を整え、スポーツツーリズムの振興を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)			10,571			
				14,306			
				3,735			
				14,306			
	B. 執行済額			14,233			
	うち交付金充当額			11,386			
	次年度繰越額						
	執行率（％）(B/A)			99.5%			
	予算の状況の説明		当初は野球キャンプを想定し、内野部分のみを整備する計画であったが、サッカー大会等の各種スポーツ大会にも幅広く活用できるようにするため、整備計画を変更しグラウンド全体の整備を行った。				
活動目標（指標） 及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・グラウンド舗装工事 ・芝生整備	目標	()	(グラウンド舗装 芝生整備)	()	()	
		実績		グラウンド舗装 芝生整備			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・東風平運動公園野球場へ黒土を投入し内野部分の土の厚みを増やし、機能強化を行った。 ・具志頭運動公園多目的広場へ赤土を投入しグラウンド全体の厚みを増やし、機能強化を行った。 ・東風平運動公園サッカー場へ冬芝の種子をまき、肥料、砂等を散布し芝生の育成を行い機能強化を図った。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
	県外より野球チーム（2チーム）、サッカーチーム（1チーム）のスポーツキャンプを受入れ	目標	(2チーム)	(2チーム)	(3チーム)	()	(7チーム)
		実績		2チーム	7チーム		
	〔参考指標〕		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	県外からのスポーツキャンプ誘致の目標を野球2チーム、サッカー1チームを見込んでいたが、実際は野球2チーム、サッカー5チーム、計7チームの開催があり、目標を大きく上回った。特にサッカースキャンブの開催が予想を大幅に超え、町内外より多数の見学者が訪れ、大変なにぎわいをみせた。キャンプ期間中は周辺の商店、飲食店も客足が増え経済効果もでている。今年から町が取り組んだサッカー場の芝生整備と、県の実施したスポーツキャンプ誘致事業が相乗効果を発揮し大きな成果を得ることができた。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(ア) プロスポーツキャンプを継続するには芝生、グラウンド、備品等を最良の状態に維持していかなければならないため、毎年度、かなりの労力と一定の整備費が必要となる。	(ア) 毎年、芝生、グラウンド、備品等を最良の状態に維持するため、委託事業等を検討していきたい。
	(イ) 人気チームのスポーツキャンプには、多数の見学者が訪れ、渋滞や路上駐車が発生し苦情が寄せられた。	(イ) 警備委託等で見学者の誘導を行い、渋滞や路上駐車等の解消に努めていきたい。
	(ウ) サッカーキャンプは決定から開催までの期間が短いため、受入れ体制が十分でなく、またPR活動、地域との交流もできなかった。	(ウ) 十分な受入れ体制を確保するため、事前調整を徹底するなど、積極的に打診していく必要がある。

今後の取り組み方針

運動公園施設等整備事業を継続して実施し、野球キャンプでは内野黒土の補充及び整備、サッカーキャンプでは芝生の育成管理を継続して行うため、専門業者への委託事業を実施していく。
 新たに「スポーツキャンプ誘致事業」を立ち上げ以下の取り組みを行っていく。
 ・警備委託(渋滞解消、安全確保の対策)
 ・スポーツキャンプ用の備品購入
 ・キャンプ継続のための誘致活動
 ・本拠地への応援ツアー等の交流活動
 ・さらなる観光客を呼び込むためのPR活動

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・工事に関しては入札を実施、冬芝材料費については専門業者との随意契約とした。 ・事前に十分な検討をし、必要最低限の事業としている
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		八重瀬町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-	観光地安全対策事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	教育委員会 社会体育課	事業実施(予定)年度	25年度	沖縄振興基本方針該当箇所		観光客の受入体制の整備		
事業内容	各種スポーツキャンプやスポーツ大会等で、町内外から多数の利用者がある運動公園施設に防犯カメラを設置し、利用者の安全・安心を確保する。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)			24,976				
				24,976				
				0				
				24,976				
	B.執行済額			23,803				
	うち交付金充当額			19,042				
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)			95.3%				
予算の状況の説明		事業計画通り整備を行い、計画通りの予算執行となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・防犯カメラシステム整備 ・防犯カメラシステム稼働	目標	()	(カメラ31台設置)	()	()		
		実績		同上				
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	東風平運動公園全域へ防犯カメラ31台を設置した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	・防犯カメラシステム導入	目標	()	()	防犯カメラ31台稼働	()	防犯カメラ31台稼働	
		実績			防犯カメラ31台稼働			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	4月より防犯カメラシステムが稼働したことにより、犯罪や迷惑行為の抑止に役立られている。 ・不法投棄注意3件、迷惑行為改善3件、盗難行為注意1件、交通事故画像を警察へ確認、捜査協力						

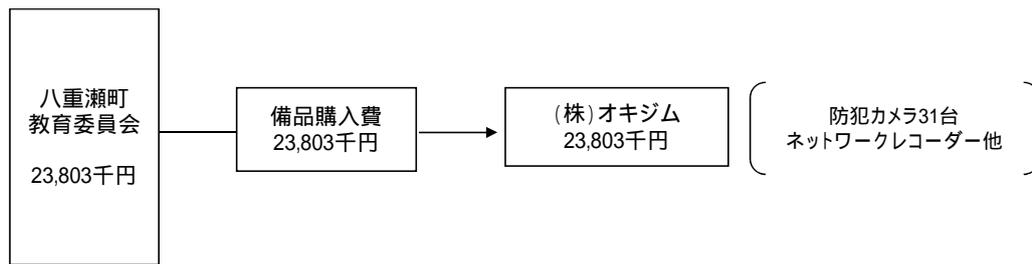
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	防犯カメラでは事後対応になる場合が多いので、事件の確認のみとなってしまっており、解決に結びつかないケースが多い。また、防犯カメラの設置に気づかず堂々と犯罪を犯しているケースがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・事後にカメラ映像の確認を行うのではなく、出来る限りこまめに画像を確認する。 ・放送システムを活用し不審人物には迅速な注意喚起を促す。 ・防犯カメラが設置されていることを周知する。

今後の取り組み方針

- ・これまで記録されたデータを分析し、犯罪、迷惑行為等の発生パターンを解明し、犯罪の未然防止法を研究する。
- ・防犯カメラが設置されていることを粘り強く周知し、犯罪、迷惑行為等の未然防止に努める。
- ・暴走行為等へは警察との迅速な連携体制を深め、画像提供等も行い検挙に協力する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,803	23,803	19,042	4,761	0



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・指名競争入札を実施し売買契約を行ったので支出先は妥当であったと考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・事前に十分な検討をし、必要最低限の数量としているので予算規模は適正であり費目・用途は必要なものに限定されている。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

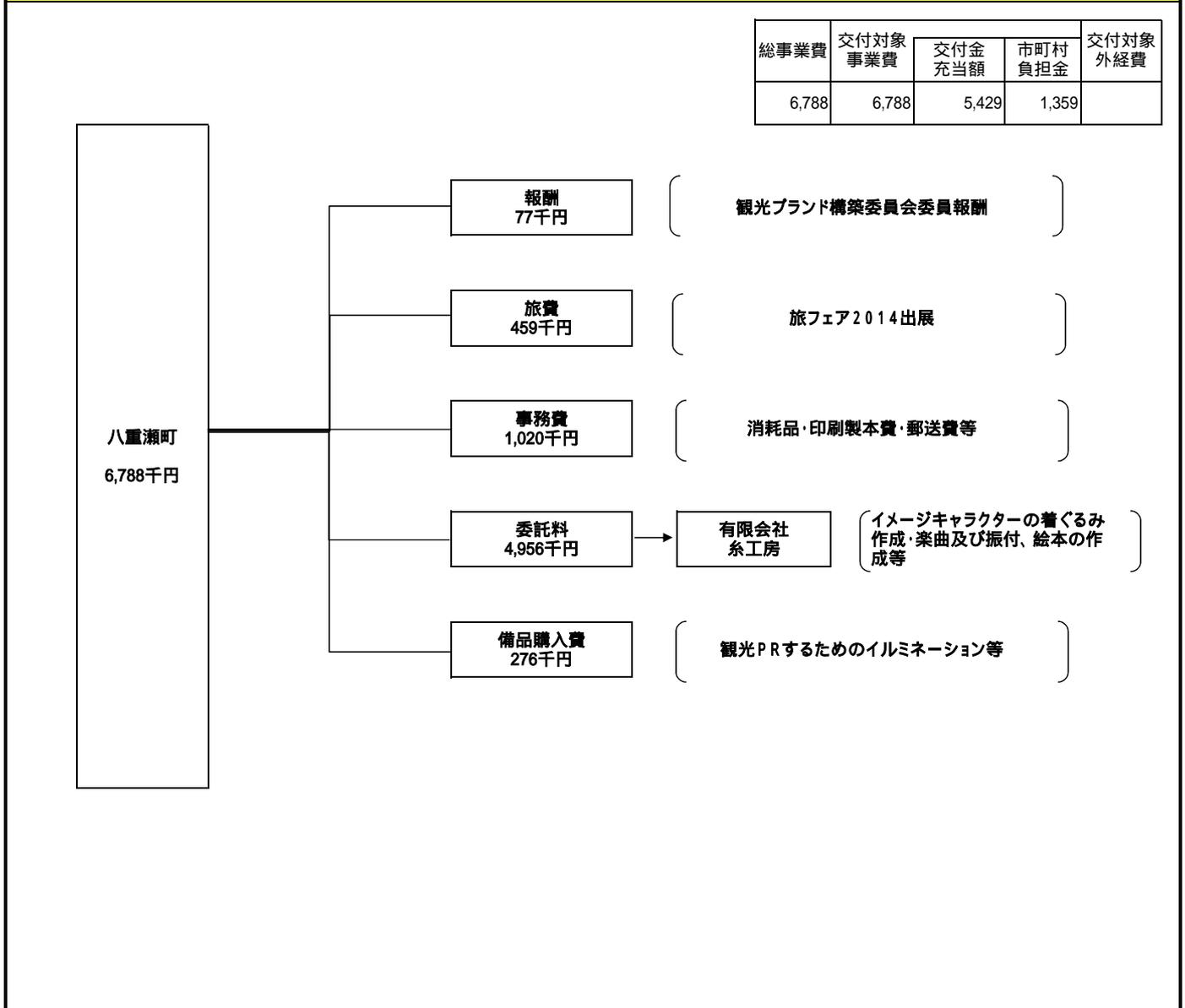
市町村名		八重瀬町				
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-	八重瀬観光資源構築に関する事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成	
事業内容	平成24年度に選定された八重瀬観光ブランドイメージキャラクターの着ぐるみの作成及び八重瀬町の観光プロモーションを行う。					
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()					
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	(a)当初予算額		6,904			
	(b)予算現額		6,904			
	(c)増減額(b-a)		0			
	(d)繰越額		-			
	A.計(b+d)		6,904			
	B.執行済額		6,788			
	うち交付金充当額		5,429			
	次年度繰越額		-			
	執行率(%) (B/A)		98.3%			
予算の状況の説明	やえせのシーちゃんの楽曲・着ぐるみ・絵本も仕様書通り製作されて各種イベント等へのPRも順調に行われた。ブランド構築委員会は毎月開催の予定が各種行事との調整で予定より少ない開催となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	イメージ楽曲(1曲)、絵本(3バージョン)、着ぐるみ1体の作成	目標 (-)	(楽曲 1曲 絵本 3v 着ぐるみ 1体)	()	()	
	実績	-	楽曲 1曲 絵本 3v 着ぐるみ 1体			
達成状況説明	八重瀬町の観光イメージキャラクターを使った観光プロモーションを行うにあたり、イメージキャラクターの着ぐるみの作成、八重瀬町のイメージの楽曲及びダンス振付、そしてキャラクターを主人公とした八重瀬町の観光啓発の絵本の作成を委託し、仕様書通りのものが制作されているため適正だと考える。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・イメージキャラクターの着ぐるみを使った観光プロモーションの実施	目標 ()	()	(PRの実施)	()	()
	・イメージキャラクターの絵本及び作詞・作曲振付まで行い、地域内外に広く周知	実績			県外PR 1回 県内PR 5回	
	〔参考指標〕 公共以外のイメージキャラクターの利用許可申請数	目標 ()	()	(-)	()	()
	実績			24		
進捗状況説明	イメージキャラクターの着ぐるみ・絵本・楽曲を作成することにより、効果的に八重瀬町の観光PRが図れるようになり、八重瀬町の認知度向上に大きく寄与されている。 主な出演イベント 県外 日本旅フェア2014 県内 やえせまつり、やえせ桜まつり、沖縄県産業まつり、糸満市産業まつり、沖縄県主催バスツアー その他、町内行事イベントへの出演					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	観光ブランドを構築するためには内部での意思決定にとどまらず、外部からの認識により決定されることから観光プロモーションの実施の重要性や外部からの認知度及びイメージの向上が不可欠である。そのため、イメージキャラクターを使った観光PRは何を、何のために、どのように、と目的を持ってPRを行わなければならない。	観光ブランドの構築は一過性に終わらないように継続して、観光資源のブラッシュアップによる観光ブランド構築及び観光プロモーションの実施が不可欠。

今後の取り組み方針

- ・イメージキャラクターを効果的に八重瀬町の観光PRに活用し、八重瀬町の観光ブランドを構築するために継続して以下の事業を行う。
- 1、八重瀬町は沖縄県最大最古の村落獅子があるので、やえせのシーちゃん&シーサーをイメージしたPRを積極的に行う。
 - 2、八重瀬町の観光PRを効果的に行うため、専従の観光プロモーション支援員を配置し、SNS等を活用し積極的に観光プロモーションを行う。
 - 3、効率よくプロモーションを行うために、イメージキャラクターをモチーフとしたキャラバンカーを配車し、観光PRを行う。
 - 4、積極的にイベントに出展し、八重瀬町の観光PRを行う。
 - 5、八重瀬町が観光地として受け入れられるように地域資源の条件整備等を行う。
 - 6、その他 観光ブランド構築にあたり必要な施策を委員会で諮り、関係機関と連携して実施を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ・費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3- 八重瀬町観光資源ブランド開発に関する事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(9)-イ		
	担当部課名	企画財政課		事業実施(予定)年度	25年度	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成	
				沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(4)		
事業内容		八重瀬町の地域資源を観光資源にするため、体験プログラムの構築や人材育成を行う。また教育旅行受入のためのコーディネートや情報発信及び観光プロモーションを行う。					
実施方法		直接実施 委託 補助 負担 その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額		10,000			
		(b)予算現額		10,000			
		(c)増減額(b-a)		-			
		(d)繰越額		-			
		A.計(b+d)		10,000			
	B.執行済額			9,888			
	うち交付金充当額			7,910			
	次年度繰越額			-			
	執行率(%) (B/A)			98.9%			
予算の状況の説明		八重瀬町の観光ブランドを創り上げるために八重瀬町の知名度を向上させる事業 住民主体の受入体制整備、地位資源の調査 町民の観光に対する意識の啓発を行い、滞りなく事業を遂行し執行することができたので適正だと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光先進地リーダーの招聘 3回 県外観光プロモーション 2回 体験フェスティバル 1回	目標	()	(勉強会 6回 プロモーション 2回)	()	()	
		実績		勉強会 6回 プロモーション 大阪 1回 東京 1回			
		目標	(-)	()	()	()	
		実績	-				
達成状況説明	これまで観光産業が無く、宿泊施設も少ないため素通りであった八重瀬町において、本事業で、八重瀬町内の地域資源を有機的につなぎ合わせ「まるごと八重瀬町ミュージアム」の形を創ると同時に、これらを包括的に八重瀬町ブランドとして町内外県外へ広く発信することで八重瀬町民の誇りの醸成、八重瀬町の認知度の向上に繋げ「通過するだけの」の現状から、沖縄県本島南部の中央に位置する利便性を活かし滞在型観光地を目指した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	地域ぐるみで八重瀬町観光ブランドを創造するために地域資源の掘り起こし、人材育成及び観光資源にするための講演会を3回行う。また観光プログラムを安心安全に行うためマニュアル等条件整備の実施、地域内外に観光プロモーションを行う。	目標	()	()	(講演会 3回 県外PR 2回)	()	()
		実績			講演会 3回 県外PR 2回		
	[その他実績] 観光まちづくり委員会 10回実施 体験フェスティバル 延799名来場 地域資源のデータベース化 142件 まちあるきルートの作成 10件	目標	()	()	(-)	()	()
		実績					
進捗状況説明	八重瀬町において、これまで観光資源として注目されていない地域資源を調査し、掘り起して組み合わせることにより観光資源として開発を行ってきた。また、魅力ある地域づくりのためにまず八重瀬町の住民が内外に誇りを持つように、観光まちづくり委員会による八重瀬町まちおこしの研究・実践をコーディネートし、講演会による地域住民の意識啓発を行ない、魅力ある八重瀬町のたくさん詰まった八重瀬まるごと体験フェスティバルの実施に繋げた。 また、八重瀬町の認知度向上の向上のために観光客向けに県外プロモーションの実施を行い、八重瀬町のPRを実施した。						

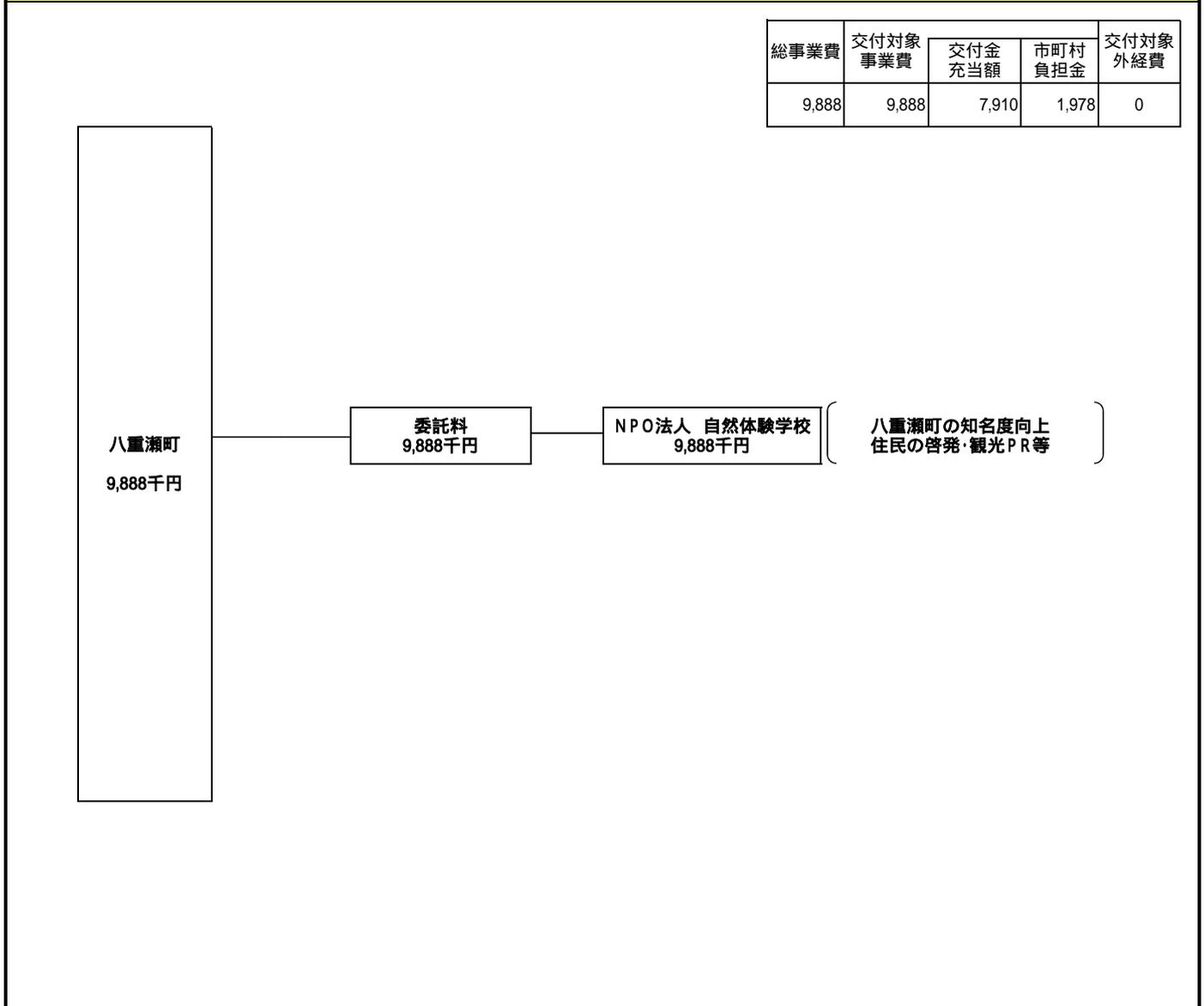
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	観光ブランドを開発するためには内部での意思決定にとどまらず、外部からの認識により決定されることから観光プロモーションや外部からのモニタリング調査の重要性、さらに重要なのは観光ブランドとしての差別化を図り、安心安全に受け入れる体制づくりが最重要であることを認識した。	八重瀬観光ブランドの開発が一過性のものに終わらないように、継続して観光資源のプログラム化、更なるブラッシュアップの必要性及び観光ニーズを絶えず意識して継続した観光プロモーションの実施が不可欠。
	地域ブランドは外部から認識されて初めて地域ブランドとしてなり得るが、そのブランドを維持するためには、地域の方々のブランドに対する意識の啓発・誇りに醸成がブランドの維持及び価値の向上につながることを認識した。	観光資源のプログラム化において、最も重要なのは地域の観光資源に対する意識及び誇りの醸成等の素地づくりを前提に受け入れる地域の仕組みづくりと人材育成が重要 (観光ガイドの育成及び看板設置等の条件整備等)

今後の取り組み方針

・観光ブランド開発のためには継続した取組の実施、地域住民の啓発が不可欠なので、平成26年度においても住民と協働の観光まちづくりの実践を行い、調査・検証・ブラッシュアップのサイクルを実施し、魅力ある八重瀬観光ブランドを創り上げていく。具体的には継続した以下の取り組みを行う。

- 1、観光ブランドを創り上げる住民との協働
- 2、観光ブランドとして観光プロモーションの継続実施
- 3、八重瀬町を体験滞在するための仕組みづくり
- 4、八重瀬町ブランドを構築させるための観光資源のブラッシュアップ及びコーディネート

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ・費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3- 八重瀬カラベジブランド構築に関する事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	25年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 - 1 - (4)

事業内容 地域ブランドとして「八重瀬カラフルベジタブルプロジェクト」が定着しつつあり、今後、販路拡大を図り生産者の所得向上及び地域活性化を図るため、カラベジ製品の開発や物産展の開催によるPR等を実施する。

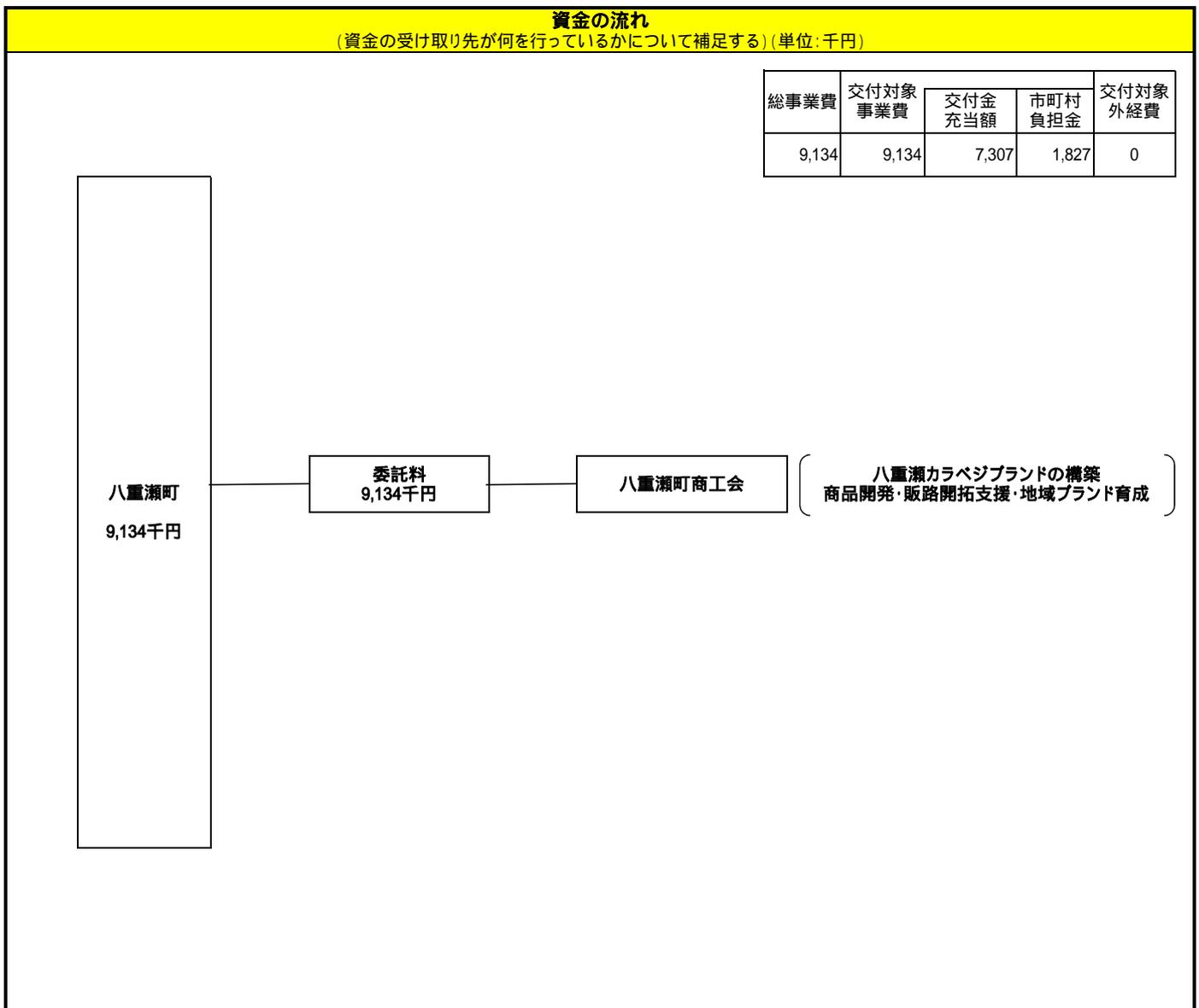
実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額		9,975		
		(b) 予算現額		9,975		
		(c) 増減額(b-a)		-		
		(d) 繰越額		-		
		A. 計(b+d)		9,975		
	B. 執行済額			9,134		
	うち交付金充当額			7,307		
	次年度繰越額			-		
	執行率(%) (B/A)			91.6%		
	予算の状況の説明		八重瀬カラベジブランドが地域ブランドとして定着するため、カラベジ製品の開発、推進委員会によるブランディング及びブラッシュアップを図り、それらを販路開拓支援に繋げる取り組みを行い、滞りなく執行することができているので適正だと考える。			

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		カラベジ製品等の開発 物産展、商談会への参加 カラベジフェアの開催 カラベジスタンプラリーの開催 WEBを活用したプロモーション	目標 ()	()	新規製品等開発3品 物産展参加 3回 カラベジフェア1回 スタンプラリー2回 コンテンツ追加・記事配信、集客イベント	()
	実績		新規製品等開発4品 物産展参加 6回 カラベジフェア1回 スタンプラリー1回 コンテンツ追加・記事配信、プレゼント企画実施			
	目標	(-)	()	()	()	
	実績	-				
達成状況説明	推進委員会を中心に「八重瀬カラベジ」を活用して町のイメージアップと地域活性化を結びつけるための企画と活動を行い、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		目標	()	()	新規製品等開発3品 物産展参加 3回 カラベジフェア1回 スタンプラリー2回 販促カタログ12千部	()	()
		実績			新規製品等開発4品 6回(町内1、那覇市2、東京3) カラベジフェア1回 スタンプラリー1回 販促カタログ15千部		
		目標	()	()	(-)	()	()
		実績					
進捗状況説明	不用額は新製品開発費が予算額より安価で実施できたため、当初計画していた事業内容は全て実施できたほか、積極的に情報発信を行った結果、新聞、テレビ等マスコミでのパブリシティ(11回)に成功し、地域住民への意識啓発とブランド力向上が図られた。						

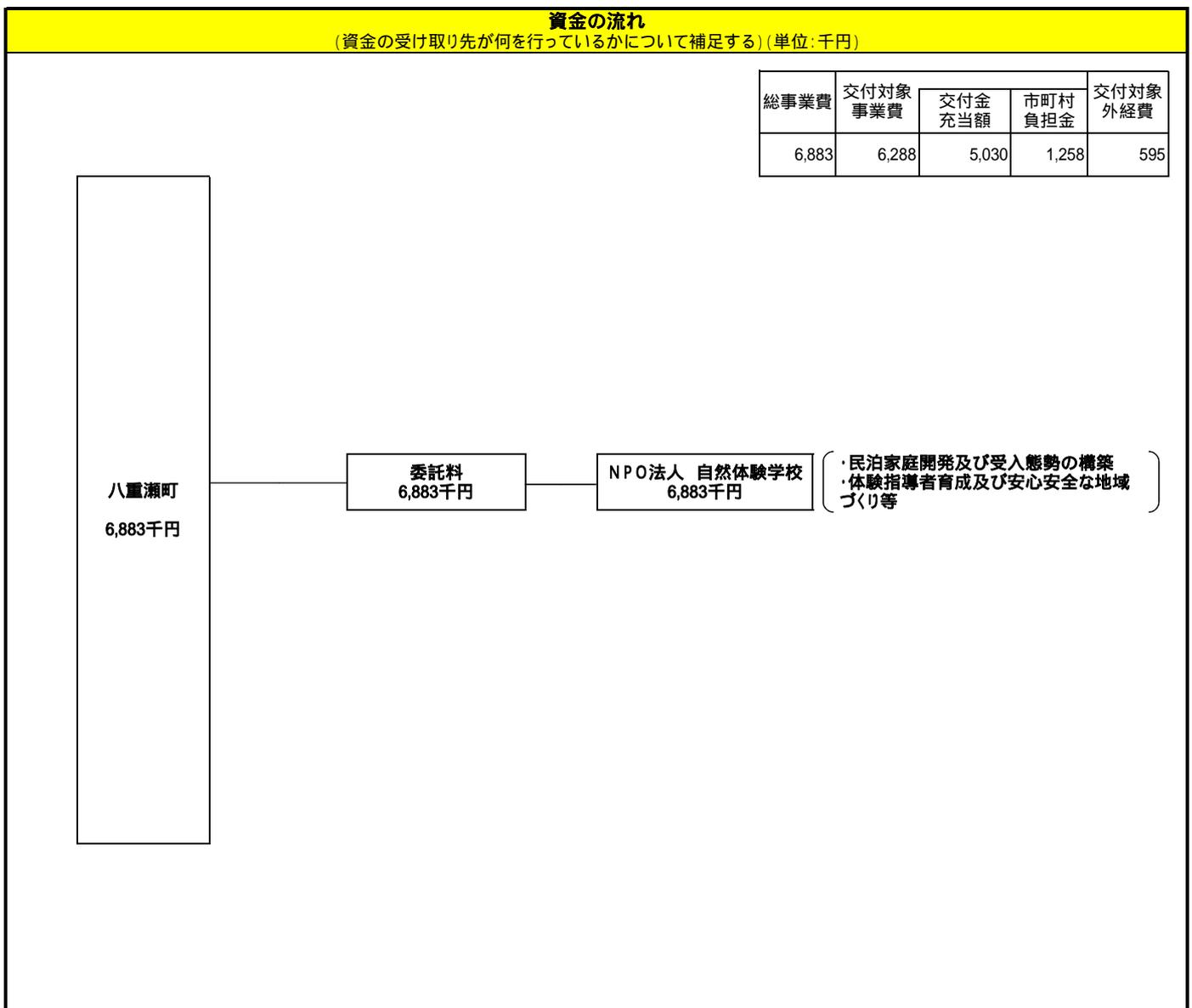
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>カラベジブランドを構築するためには内部での意思決定にとどまらず、外部からの認識により決定されることから販売促進プロモーションや地域ブランドとしての地域内外への啓発、外部からのモニタリング調査の重要性、さらに重要なのは地域ブランドとしての他の競合製品との差別化を図り、ニーズをとらえた地元で愛されるブランドとしての確立が最重要であることを認識した。</p> <p>地域ブランドは外部から認識されて初めて地域ブランドとしてなり得るが、そのブランドを維持するためには、地域の方々のブランドに対する意識の啓発・誇りの醸成がカラベジブランドの維持及び価値の向上につながることを認識した。</p>	<p>八重瀬カラベジブランドの構築が一過性のものに終わらないように、継続して地域に愛されるカラベジブランドの確立、製品の更なるブラッシュアップの必要性及びニーズを絶えず意識して継続した販促プロモーションの実施が不可欠。</p> <p>カラベジブランドの構築において、最重要なのは地域に対する意識及び誇りの醸成等の素地づくりを前提に販売する仕組みづくりと地域ブランドの育成が重要</p>
今後の取り組み方針		
<p>ブランド力向上には継続的活動が必要であり、顧客形成のためのイベント等を実施する。 開発した製品等の販路開拓支援を実施。 ショップ等売場を確保し、プロモーション活動を強化。 WEBやマスコミ等を活用した情報発信を積極的に行う。</p>		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	八重瀬町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	八重瀬町体験観光指導者及び民泊受入家庭育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(6)-イ	
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成25～34年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域づくりうい担う人材の育成 -1-(4)	
事業内容	八重瀬町の観光振興を推進するにあたり、安心安全な体験観光受入を担う人材育成及び民泊受入家庭の新規開拓、安心安全な講習会を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		-			
		(b)予算現額		9,030			
		(c)増減額(b-a)		9,030			
		(d)繰越額		-			
		A.計(b+d)		9,030			
	B.執行済額			6,883			
	うち交付金充当額			5,030			
	次年度繰越額			-			
	執行率(%) (B/A)			76.2%			
予算の状況の説明		予定していた体験観光指導者の講習会2回のうち、開催の時期が悪く参加者が少なかったため1回の開催としたため、予定より支出減となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	民泊受入家庭育成勉強会の実施 6回 プロモーション 2回	目標	()	(勉強会 6回 プロモーション 2回)	()	()	
		実績		勉強会 6回 プロモーション 大阪 1回 東京 1回			
		目標	(-)	()	()	()	
	実績	-					
達成状況説明	これまで観光産業が無く、宿泊施設も少ないため素通りであった八重瀬町において、民泊を推進し、民泊受入家庭の掘り起し・育成勉強会の実施、さらに安心安全な体制作りのために町民を対象に救急蘇生法の講習会を実施し、修学旅行の受け入れを推進し潜在的なリピーターの創出に繋げるように受入体制整備を行った。 さらに、安心安全な滞在型の観光振興を推進するために体験観光指導者の育成も図り、プロモーションも行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	民泊受入家庭育成 50戸	目標	()	()	(50戸)	()	
		実績			36戸		
	【参考指標】 救急蘇生法講習会 35回実施 216名育成 簡易宿泊マニュアル作成 体験観光指導者 2名育成	目標	()	()	()	()	
		実績					
進捗状況説明	当初、民泊受入について、他人の子供を預かるということにハードルを高く感じる家庭が多く見られていたが、実際に受けた方々の口コミにより受入家庭がどんどん増えて来ている状況に繋がっている。しかし、民泊家庭にも状況が違うことから今後も定期的な民泊受入の啓発及び人材育成勉強会を実施することにより、安心安全な受け入れ体制の構築に繋がるため継続して実施する必要がある。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>民泊については、現在、修学旅行のニーズが高く、宿泊施設が少ない八重瀬町において体験滞在型の観光振興を推進するうえで非常に重要である。今回は、まだまだ町内の民泊受入に関する認知度が低く、まず民泊のことを学ぶ町内各種団体向けに22回説明会を実施した。今後、家庭の事情が整えば民泊を受けてくださる潜在的民泊家庭も増えてきた。</p> <p>しかしながら、継続して取り組んでいくためには、安心安全に受け入れる体制の構築が急務であり、今後も民泊家庭への受入時の質の向上を図るための勉強会の実施、また、新規に受け入れる家庭への説明会を実施していく。さらに、滞在者に選ばれる地域となれるように安心安全な受け皿となる指導者の育成や地域づくりに取り組む必要があり、今後は積極的に県内外の旅行会社や学校へプロモーションを図り、事前学習・受入・事後検証というサイクルを創り上げさらなる安心安全体制を創る必要がある。</p>	<p>滞在者にとって魅力的なまちとなれるよう、今後も地域一体となった安心安全な体制作りが必要である。魅力的なまちとは受入家庭のみならず、地域が滞在者を心地よく受け入れる素地を持つこと、また、魅力ある地域資源を誇れるように地域ぐるみで八重瀬町観光ブランドを創り上げることが更なるまちの魅力向上につながり、リピーターがリピーターを呼び寄せることにつながる。そのために今後も継続して、安心安全な地域づくり、指導者の育成及び民泊受入家庭の意識啓発を行っていく必要がある。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>・今後も安心安全に八重瀬町に滞在し魅力ある八重瀬町観光ブランドを提供していくために継続して安心安全な受け入れ体制を創り上げていく。</p> <p>1、安心安全な地域づくりとして、地域全体が受け入れる意識作り及び救急蘇生法等安心安全をサポートする体制作り 2、安心して滞在できる民泊受入家庭の開発のための勉強会等の継続実施を行い、民泊受入家庭の意識啓発を図る 3、体験観光指導者の育成により体験滞在型の観光振興を図り、積極的に安心安全な地域の資質向上に努め旅行会社や学校へのPRを図る</p>		



資金の流 れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	八重瀬町循環型環境保全事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア	
担当部課名	住民環境課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進 -1-(6)	
事業内容	生ゴミをゴミとして焼却するのではなく、肥料として活用しゴミの減量化を行うことで循環型農業の取り組みを行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)		1,560	1,040			
			1,560	1,040			
			0	0			
			-	-			
		B.執行済額	1,528	1,012			
		うち交付金充当額	1,222	809			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	97.9%	97.3%			
		予算の状況の説明	当初の計画通り予算を適正に執行できた。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	生ゴミ回収実施	目標	(195回)	(253回)	()	()	
		実績	191回	253回			
	町民への生ゴミ回収協力依頼	目標	(12ヶ所)	(11ヶ所)	()	()	
		実績	11ヶ所	11ヶ所			
達成状況説明	生ゴミ回収の予定日数は253日で、予定通りの253日の回収を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	生ゴミ回収量	目標	()	(38トン)	(43トン)	()	()
		実績		40トン	36トン		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	生ゴミ回収用バケツのふたにウジがわいたりし衛生面で課題がでて利用者が減となり、1ヶ所当たりからの生ゴミ回収量が減少した為、目標達成はできなかった。					

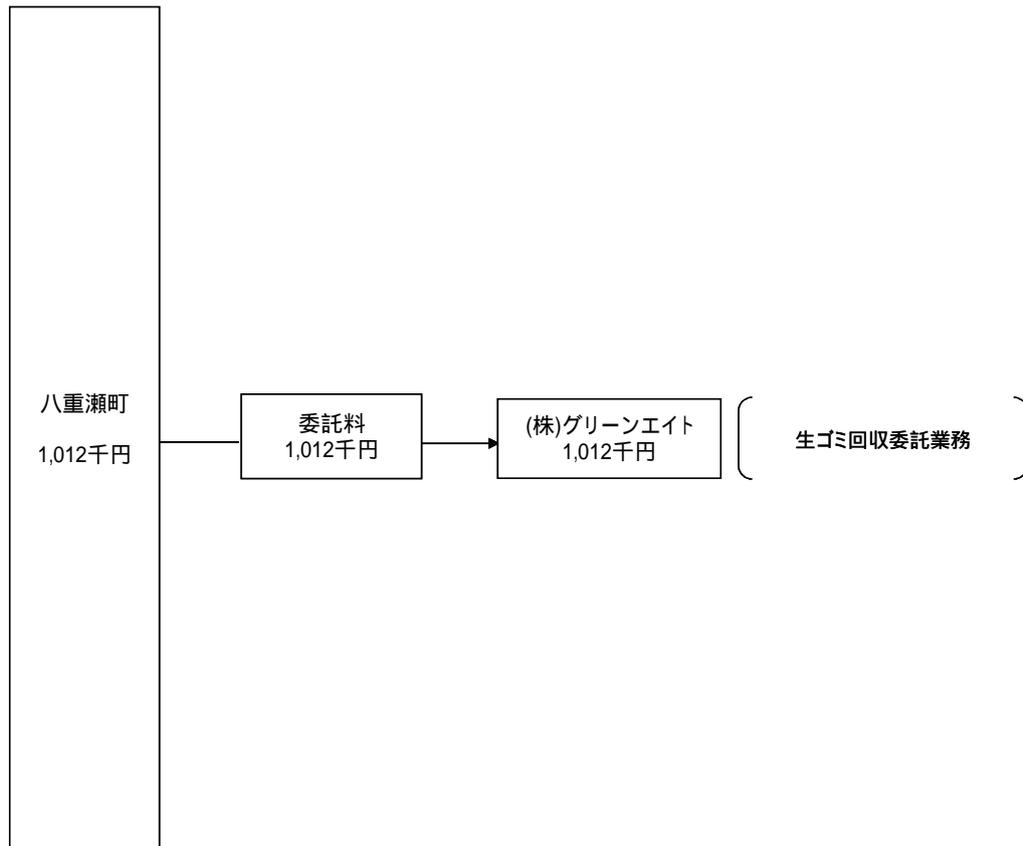
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	生ゴミ回収用バケツのふたにウジがわいていて、ふたを開けたくない旨の苦情が寄せられたことから、生ゴミ回収場所の環境の悪化が回収実績の不振につながったと考えられる。	生ゴミ回収をする場所の環境悪化を防止するとともに、住民に不快感を与えない清潔な環境づくりを行う必要がある。

今後の取り組み方針

定期的に生ゴミ回収用バケツの交換を行っていき、アンケート調査等で事業対象である住民の意見を取り入れ、清潔な環境づくりを行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,040	1,012	809	203	28



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者において、該当する業者が1業者しかない為その業者を選定した。よって、選定方法は妥当であったと考えられる。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4- 八重瀬町農業機械施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-カ		
	担当部課名	農林水産課		事業実施（予定）年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯気候等を生かした農林水産業の振興
						-1-(6)	
事業内容		共同利用機械等の生産条件の整備を実施することにより、市場ニーズに対応できる安定生産・出荷に向けた産地形成を図り、農業経営の安定化を推進するとともに、農産物の生産振興を図る。					
実施方法		直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）					
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額		0			
		(b)予算現額		36,600			
		(c)増減額(b-a)		36,600			
		(d)繰越額		-			
		A.計(b+d)		36,600			
	B.執行済額			27,803			
	うち交付金充当額			22,242			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)			76.0%			
予算の状況の説明		不用額が発生しているが、入札による残によるものと、農業用冷蔵庫(2台)の未実施によるものであり、当初計画していた事業内容は一部実施できていない状況である。未実施の農業用冷蔵庫については、事業実施主体と計画を再検討し実施したい。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	農業用冷蔵庫:2台 パワーショベル:1台 農業用格納庫:1箇所		目標	() (3台・1箇所)	()	()	
			実績	1台・1箇所			
			目標	() ()	()	()	
			実績				
達成状況説明		パワーショベル(1台)及び農業用格納庫(1カ所)については、計画通り事業実施できたが、農業用冷蔵庫(2台)については、導入する目的・規模根拠等を再検討する必要があるため実施できていない状況である。未実施の農業用冷蔵庫については、事業実施主体と計画を再検討し実施したい。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	共同利用機械整備:3台 共同利用機械施設整備:1箇所		目標	() ()	(3台・1箇所)	()	()
			実績		1台・1箇所		
	〔参考指標〕		目標	() ()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明		パワーショベル(1台)及び農業用格納庫(1カ所)については、計画通り事業実施し、順調に稼働され目的にあった使用がなされている状況である。農業用冷蔵庫(2台)については、導入する目的・規模根拠等を再検討中であり、早ければ平成26年度事業もしくは平成27年度には実施できるよう取り組む方針である。				

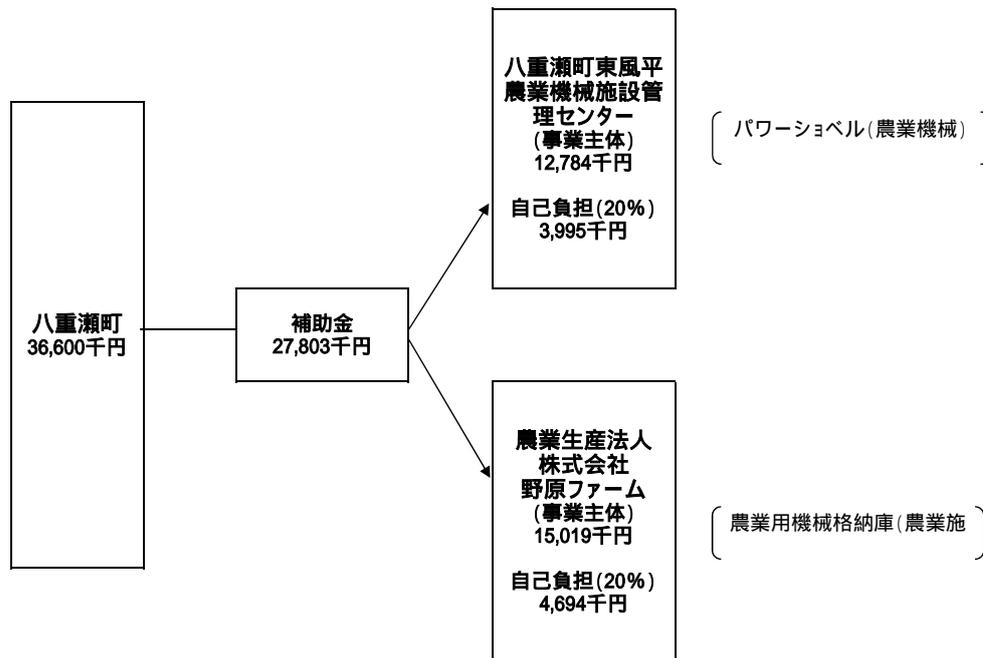
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業で導入した農業機械及び農業施設の管理運営、利用状況等の把握を行う必要がある。	事業目的外使用がされていないか把握を行う必要がある。

今後の取り組み方針

今後は農業機械及び農業施設の対応年数の間において、適切な管理運営を指導するとともに、事業実施後の管理運営、利用状況及び事業効果の把握に努める。農業者団体からの事業要望はあったが、交付要綱に基づいて計画書等が作成できずに、実施できなかった事業(農業用冷蔵庫)を再検討する必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
36,600	27,803	22,242	5,561	8,689



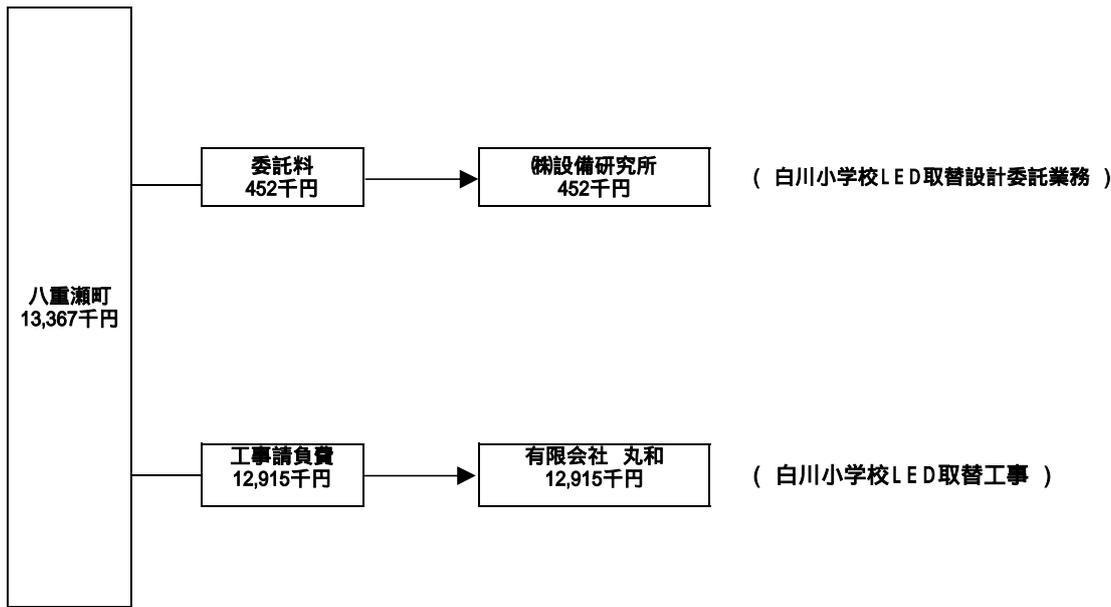
資金の流 れ、点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先の選定は入札により行われており、適正であった。 ・事業計画書により、農業機械の規模決定根拠等も整理されており、適正と判断している。 ・事業主体の負担については20%を負担しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 -	教育施設省エネ化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (3) - ア	
担当部課名	学校教育課	事業実施（予定）年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進 - 10 - (1)	
事業内容	環境にやさしい教育施設を推進するため、八重瀬町役場地球温暖化対策実行計画に基づき照明設備をLED化し省エネ化を推進する。小学校体育館の照明設備LED取替委託業務及び工事を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		13,371			
		(b)予算現額		13,371			
		(c)増減額(b-a)		0			
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)			13,371			
	B.執行済額			13,367			
	うち交付金充当額			10,693			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			100.0%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	白川小学校体育館：LED照明設置	目標	()	(1校)	()	()	
		実績		1校			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	白川小学校体育館1校の設計委託業務及び、LED照明設備取替工事を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	(白川小学校体育館) 1日当たり10時間稼働 月次合計使用電力量削減率 約49%	目標	()	()	(49%)	()	()
		実績			59%		
	〔参考指標〕	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	LED照明設備取り替え工事により、月次合計使用電力量削減率 目標49%を実績として59%と目標以上を達成した。 次年度においても、小学校体育館1校、中学校体育館1校の工事を行い、省エネ化を推進する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・公立学校体育館を限定に取り替え工事を推進してきたが、校舎等においても電力需要と、環境に配慮するためLED化により、省エネ化の推進が必要である。</p>	<p>・今回の取り替え工事により、目標以上の達成ができたが照明設備の選定において更なる向上を図る。校舎等においては、児童生徒の学習効果の向上を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・公立学校体育館を継続し、校舎等においても今後環境にやさしい教育施設を推進するため、学校施設の照明設備LED化を継続して行っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,367	13,367	10,693	2,674	



資金の流 れ、費 目 ・ 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	<p>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		八重瀬町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-	防災マップ作成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 -10-(2)	
事業内容	<p>島しょ県である沖縄は、大規模災害時には物資の供給が困難となり、孤立してしまう恐れがあり、物資を配給する避難所を日頃から住民に周知しておく必要があります。そのことから台風や大雨、その他さまざまな災害に備え、住民向けの防災マップを作成し防災力の強化を図る。</p>						
実施方法	<p>直接実施 委託 補助 負担 その他 ()</p>						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)			5,082			
				9,398			
				4,316			
				0			
				9,398			
	B.執行済額			9,398			
	うち交付金充当額			7,518			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)			100.0%			
予算の状況の説明		当初及び変更後の計画していた事業内容はすべて実施し、順調に執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	防災マップの作成 (11,000部)	目標	()	(防災マップ 11,000部)	()	()	
		実績		防災マップ 11,000部			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	防災マップ(冊子)の町内世帯への配布並びに、自治会、学校等へ大型マップを配布し防災意識の啓発が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	防災マップの作成 (11,000部)	目標	()	()	防災マップ (11,000部)	()	()
		実績			防災マップ (11,000部)		
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	防災マップを通じて、防災情報や避難所の数、位置について周知ができたが、自治会未加入世帯への一部未配布についての課題が残った。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	自治会未加入世帯への防災マップの配布について100%配布できていないのが現状であるため、どのように全世帯へ防災情報や避難所等について周知・啓発していくかが問題である。	自治会未加入世帯への100%配布は困難なため、防災マップのホームページへの掲載並びに防災訓練の実施について検討していく。

今後の取り組み方針

防災マップのホームページへの掲載並びに防災マップを活用した防災訓練の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,398	9,398	7,518	1,880	0



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は公募型プロポーザル方式により実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		